

## 登場人物

- ・たえ ごった煮系アイドル「鎌足」が好きなOL。自称「結婚できないタイプ」。
- ・友世 お姉さんキャラに見られがちなOL。悩みや心配事が多い。
- ・朱美 世渡り上手な若手OL。夜の仕事をしている。
- ・ヨシコ 友世とリサの祖母。まだまだ恋する乙女。
- ・キヨコ 現在幽霊。ヨシコ、フサコとは幼馴染。時々昇天する。
- ・フサコ 現在幽霊。生前は2回お見合い結婚をした。時々深いことを言う。
- ・リサ 友世の姉。かのピッピラブ。家族も大好き。よく歌う。
- ・カナ 大学生。朱美、ミズキと共に夜の仕事をしている。彼氏持ち。
- ・ミズキ 大学生。最近筋トレに夢中。浮かれた話をしたことがない。

【1 職場にて】

人の上言ふを腹立つ人こそ、いとわりなけれ。いかでか言はではあらむ。

職場。

友世はお弁当を食べている。

たえの机には大量のパンがあるが、たえは探し物に夢中で手を付けていない。

たえ ない！ チケットがない！

友世 え？

たえ ないんです！ チケットが。

友世 何？ 何のチケット？

たえ 鎌足の！

友世 鎌足？

たえ 今をときめく週初めゆるふわ韓流ロックアイドル、鎌足のコンサートチケットです

よ！ どこ行っちゃったんだろう……

友世 ごめんもう一回言つて。

たえ だから、今をときめく週初めゆるふわ韓流ロックアイドル、鎌足の！

友世 知らねー……

たえ ちよつとマニアックだけど、人気なんですよ。「こった煮系」アイドルとして。ちなみに私は、ロック推しなんですけど。

友世 へえ。

たえ Youtubeに動画上がってますよ。見てみてください。

友世 えー、うん。

たえ 友世さん、絶対見ないでしょ。

友世 あんまり興味はないかなあ。テレビとか出てる？

たえ テレビとか、出ない出ない。カッチがテレビ嫌いなんですよ。

友世 カッチ？

たえ メインボーカルの子なんですけど、彼が「顔で売りたくない」って言って、グループ全体で話し合つて。えっと、マミーがリーダーで時々ドラムで、リンドウがキーボードで、この二人はメディア担当なんで、ラジオとかは出ますけど。そもそも、テレビ向きじゃないんですよ。私たちも、別にメディアに顔出す意味が見いだせないっていうか。

友世 でも、知らない人もいるじゃない？ その人たちが知る機会とか。

たえ ああ、じゃあまあ、一般的にはそんな感じですかね。まあこっちは、する必要を感じないっていうか。自分で調べて行くんで。

友世 ああ、そう……。これ以上のツッコミはやめておくわ。それで、なんだっけ？

たえ それで、今度、初めてこっちでコンサートやるんですよ！ そのコラボ企画で、コンピニのパン買ってシール30個集めたら、限定デザインチケットコードが貰えるんです。

友世 グッズじゃないんだ。

たえ 私、今日出勤前に大人買いして、コードゲットしたんです！

友世 今日ずっとパン食べてると思つたら、そういうことだったの。

たえ で、そのままチケットも買ったんです！

友世 元気ね、若いオタクって。

たえ でもないんです！ さっきまであったはずなのに。

友世 鞆の中は？

たえ ないです！ てか鞆から出しました。引き出しに入れたんです。

友世 デスクの？ 何で？

たえ だって引き出し開けるたびに拝めるじゃないですか。

友世 ……なるほどねえ。

たえ あっ

友世 なに？

たえ 思い出しました。

友世 え？

たえ 給湯室に連れて行っていました。

友世 ああ。え、給湯室？

たえ 確認してきます！

友世 ああ、うん。

たえ、走り出す。ドアの所で朱美と衝突しかける。

朱美 あっすみません。

たえ ごめん、先食べといて。

朱美 え、はい。

たえ、給湯室へ。

朱美 たえさん、どうしたんですか？

友世 給湯室にあるかもなんだって。

朱美 何がです？

友世 アイドルのコンサートチケット。忘れてきたかもって。

朱美 ああ、謙足の。

友世 知ってる？

朱美 知ってるんですけど。え、なんで給湯室？

友世 って思うよね、やっばり。

朱美 てか聞いてくださいよ友世さん。部長、やっば、ぼいですよ。

友世 ぼい？

朱美 好きな人いるっぽい感じ。

友世 本当に？

朱美 そうです。

友世 でも部長、もうすぐ還暦じゃなかった？

朱美 恋に年齢は関係ないってことですかね。

友世 確かに独身だし、年の割にお腹出たりしてないけど……。あの歳で独身って、意味  
あげすぎない？

朱美 まあーそれは思いますけど。庶民寄りのオジサマって感じですよね。

友世 すごいわかる。少なくとも、金田さんよりは受け入れられる。

朱美 確かに！ 金田さん、男諦めてるでしょ、完全に。

友世 家庭持って、必要なくなっただんじやない？ そういう要素。

朱美 いや、奥さんも寛大過ぎでしょ。ちよつとは気にしてほしくくないですか？

友世 確かに。何したらあんなにおっさん臭くなるのかしらね。最低限の身だしなみ考え  
てほしい。

朱美 社会人として？

友世 人間として。

朱美 あーでも、金田さんアレなんですよ。

友世 アレ？

朱美 浮気的な。

友世 うっそ。誰？

朱美 私も聞いただけなんでわかんないですけど、経理の坂崎さんと。

友世 マジで？

朱美 わかんないですけど。

友世 へーまあ……お似合いかもね。坂崎さんって、なんかこう、ねえ？

朱美 言いたいことはなんとなくわかります。あの圧迫感。

友世 キツイっていうかね。あと細かいし。

朱美 経理のために生まれてきたみたいな顔してますよね。

友世 いや、それはよくわかんない。

朱美 えー分かりませんか？ なんでもミリ単位で教えそうな感じ。アレですよ、金田さ  
んにも小言多そうな感じ。

友世 あー、「なんで待ち合わせに十分遅れてくるの？ 私が待ってるの分かっているよ  
ね？」みたいな。

朱美 それ。「分かっているよね？」が怖いんですよ。「期限過ぎてるって分かっているよ  
ね？」って。

友世 そういう女に限って、ベッドではゲロ甘だったりするもんよね。

朱美 そうなんです？

友世 なんとなく。金田さんも調子良さそうだし。

朱美 あー確かに。言い寄られたら舞い上がっちゃいそうですよね。

友世 想像したくねー。

朱美 友世さんが言い出したんじゃないですか。

友世 そうだった。まあ……人のこと悪く言う前に、自分のこと考えろって話なんですけど。

朱美 噂話って盛り上がっちゃうもんですよ。やみツイートのの方がよく見られたりするじ  
やないですか。

友世 やみ？

朱美 ダークの闇と病気の病みをかけてる言葉です。

友世 なるほど。

朱美 そもそも本人がそれっぽい空気だしてるから煙が立つんだと思いますけど。

友世 朱美ちゃん、遅しいわねえ。次、部署移動あるでしょ？ 金田さんとこ行けば？ 若  
い子に甘いよ。

朱美 嫌ですよ。セクハラ凄そうですもん。

友世 それはある。その点、うちの部長は楽だよ。ああゆう人と結婚したら、家庭が安  
定しそう。

朱美 現実的ですねー、友世さん。

友世 30 過ぎるとね、誰を見ても1回考えちゃうのよね。アリかナシか。若いといいよ  
ねえ。まだそんな考えないでしょ。

朱美 えー、若さ関係あります？ それ。

友世 あるよ。ふとした時に想像しちゃうから。「あれ、私、このままひとりでお後まで  
行っちゃう？」とか。

朱美 マジですか。

友世 マジマジ。「あれ？ 私もしかしてこのまま、老後もひとり暮らしで、あれ、倒れた時誰が見つつけてくれるんだろう。あれ？ 医療費以外でかかるお金ってある？あれ？ 遺品整理って生前に自分でしとかないといけないの？」とか。

朱美 聞深くないですか。

友世 朱美ちゃん何でわかったの？ 部長に好きな人いるとか。

朱美 女の勘ですかね。スマホいじってるときの感じとか、受け答えの感じとか。

友世 女の勘かあ。

朱美 分かりませんか？ 「あ、この人春が来てる」感。

友世 全然分かんない。

朱美 ええ？ なんか私だけすっごい敏感みたいじゃないですか。

友世 みたいっていうか、敏感だと思う。

朱美 違うんですよ。部長がたまたま分かり易かっただけで、全然なんですよ。

友世 そうなの？ あ、じゃあ、たえちゃんとか分かんない？

朱美 たえさんは分かり易いですよ。お金の貢ぎ方が異常ですもん。

友世 ああ、謙足？

朱美 ですよ。半端ないですよ。呼吸するようにグッズ買いますから。

友世 なるほどねえ。朱美ちゃんは？

朱美 私ですか？

友世 彼氏とかいないの？

朱美 いませんよー！ いるように見えます？

友世 うん。若いし、可愛いし、女子力高いし。

朱美 いや、全然ですよ！ 超がさつっていうか、おじさんですよ、私。

友世 でもおしやれだし、あれじゃない？ 彼氏いそうな空気。

朱美 違うんですよ、仕事では最低限アレしてますけど、だいぶ手え抜いてますもん。もう、めんどくさくなっちゃって。

友世 そんなこといったら、ほぼすっぴんの私なんて、終わってるし。

朱美 いやいや、友世さん肌綺麗じゃないですかー！

友世 私も欲しい。

朱美 女子力ですか。彼氏ですか。

友世 女の勘。

朱美 そっち。

友世 そっち。

朱美 私もありませんから。それに、使いどころなんて、ないですよ。気がついたって、「だから何？」って感じじゃないですか、実際。

友世 そんなこと、ないと思うけど。

朱美 そうですか？

友世 朱美ちゃん、部長に春が来てるっぼいって気がつくのに、決定打とかあったの？

朱美 ああ、見ちゃったんです。

友世 何を？

朱美 部長が、書いてるところです。

友世 何を？

たえ、帰ってくる。

朱美 あ、お帰りなさい。

たえ ……。

友世 たえちゃん？

たえ えっ？

友世 どうだった？

たえ え？

友世 え？ チケットあった？

たえ あ…：そう、そうなんです。なかったんです！

友世 ええ？

朱美 逆になんで給湯室なんですか？

たえ 10分以上そばを離れたくなかった。

朱美 ヤバみですね。

友世 ヤバみ？

朱美 ヤバいの若者言葉です。

友世 ヤバいも若者言葉だったって知ってる？

たえ ほんとにどこ行ったんだろう。どうしよう…。

朱美 どこにもないんですか？

たえ どこにもない！ ホントに！ どうしよ泣いちゃう。

友世 おおげさな。

朱美 友世さん、たえさんがあのチケットに掛けるお金知ったら本気になると思いますよ。

友世 まあ、パンはものすごい数だけど、パン1個にシール1枚としても、4千円ぐらいでしょ？ そりゃ、大きなお金ではあるけど…。

朱美 パンはそうですけど、それチケット代とかグッズ代とか入ってないんですよ。

友世 チケットいくら？

朱美 2万円。

友世 はあ！？

朱美 高いんですよ、鎌足のチケット。高いんですよ。

友世 そんなに人気なの？

朱美 人気っていうか、

たえ 人気だよ！

朱美 人気もありますけど。ファンの年齢層がめちゃくちゃ広いんですよ。お年寄り？

友世 シニア世代？ にも人気なんです。で、基本マニアックっていうか、コアなファンが多いんですよ。だから多少高くても買うんです。

友世 朱美ちゃん、なんでそんなに知ってるの？

朱美 YouTuber に流れてて、結構流行ってたみたいだったんで、調べて。

友世 若いわあ。

朱美 若さ関係ありますか？

お昼休み終了のチャイム。

友世 たえちゃん、鎌足さんは仕事の後ね。手伝ってあげるから。

たえ はい…。

朱美 友世さんて、完全にお姉さん肌ですよ。

友世 ああ、妹っぽいって言われたことは無いかなあ。

朱美 実際妹さんいらつしやるんですか？

友世 ううん。姉が1人。

朱美 え！ そうなんですか。

友世 そう。うち、姉が抜けてるから、下がしっかりしちやっただの。

朱美 あー。ぼいですね。

友世 ぼい？

朱美 しっかりしちやっただぼい。

友世 ああ……。

たえ あの！

友世 え？

たえ あの……。

友世 大丈夫？

朱美 たえさん、ファンサイトで譲渡チケットがないか、呼びかけたほうがいいんじゃないですか？

たえ いや、それは……。

朱美 嫌なんですか？

たえ もうやった。

朱美 ああ……。

たえ やったんだけど……、

友世 待つて待つて、譲渡チケットって何？

朱美 買ったけど行けなくなった人のチケットを、他の人に譲ってあげるんです。基本的には禁止なんですけど、モノによってルールがあつて。鎌足は、ファンクラブ会員同士で、サイト内のやりとりだったら認められてるんですって。

友世 朱美ちゃん、ホントによく知ってるのね。ファンじゃないんでしょう？

朱美 流行ってたっぽかったんで。

たえ 私、やったんだけど……。

友世 やったんだけど？

たえ ちょっと違う方向に話が進んだっていうか。

友世 どういうこと？

朱美 大丈夫ですか？ たえさん。

たえ ……ううん。大丈夫。なんでもない！ 朱美ちゃんも、探すの手伝って、お願い。

朱美 困ってもテンション高いですね。

たえ 違う！ テンション高くないかないと悲しみで潰れるから。

朱美 いや、通常運転ですよ。

友世 元気ねえ。

3人、ハケていく。  
途中、友世は立ち止まり、振り返る。

【2 オープニング】

友世が1人立つ。

友世 春はあけぼの

たえと朱美が出てくる。

たえ やうやう白くなりゆく

朱美 山際（やまぎわ）

友世 すこし明りて

たえ 紫だちたる雲の

3人 細くたなびきたる。

朱美 のはいとインスタ映え。

カナとミズキが出てくる。

カナ 夏は夜。

ミズキ 月の頃はさらなり

朱美 闇もなほ

カナ 螢（ほたる）の多く飛びちがひたるのはマジ卍。

ミズキ また、ただ一つ二つなど

朱美 ほのかにうち光りて行くもテンアゲ。

ミズキ 雨など

3人 降るも、

ミズキ エモし。

リサと、遅れてヨシコが出てくる。

ミズキ 秋は

リサ 秋は夕暮（ゆうぐれ）。

友世 夕日のさして、

友世・リサ 山の端（やまのは）

リサ とつても近くなつて

ミズキ 烏（からす）の寝所（ねどころ）へ行くとして

ヨシ 三つ四つ二つなど、飛び急ぐさへ、あはれねえ。

ミズキ・リサ まいて、雁（かり）などの

リサ 並んで飛んでいくのが、

ミズキ・リサ いと小さく見ゆるは、

ミズキ いとインスタ映え。

ヨシ 日が暮れてねえ、

友世 風の音（おと）、

リサ 虫の音（ね）、

友世 蛙の音（ね）、

リサ 車の音（おと）、

友世 酔っぱらいの大声

リサ 若者の騒ぎ声など、はた、  
友世・リサ・ヨシ 言ふべきにあらず。  
友世 うるさいわ。

フサコとキヨコが出てくる。

ヨシ 冬はつとめてねえ。

キヨ そうねえ。

フサ 雪の降りたるは、言ふべきにもあらずねえ。

キヨ 霜のいと白きも、

3人 またさらでも、

フサ いと寒きに、火など急ぎおこして、

キヨ 炭(すみ) 持てわたるも、いとつきづきしいねえ。

ヨシ 昼になって

フサ ぬるくゆるびもていけば、

キヨ 炭櫃(すびつ)・火桶(ひおけ)の火も白き灰がちになりて、ねえ。

たえ うつくしきもの

友世 瓜(うり)に描きたる児(ちご)の顔。

カナ 二つ三つばかりなる児の、

ミズキ 急ぎて這ひ来る(はいくる)

リサ つまるところ、

たえ・友世 子どもはだいたい可愛い。

朱美 と言っておけば間違いない。

フサ 雀の子の、

キヨ ねず鳴きするに、躍り来るねえ。

ヨシ 雛の調度(ひなのちようど)

カナ 葵のいと小さき

ミズキ 芋の芽のいと小さき

朱美 動物のいと小さき

カナ 散歩したるいと小さき子犬の

ミズキ 振り返りたる上目使い

朱美 ちびっくり。

たえ 何も何も、

リサ 小さき物は、皆うつくし。

全員 春はめすぶた

友世 人の上言ふを腹立つ人こそ、いとわりなけれ。

朱美 噂話つて盛り上がっちゃうもんですよ。

たえ え？ 見れば何となくわかるでしょ。

全員 夏は恋

友世 生ひ先なく、まめやかに、えせさいはひなど見てゐたらむ人は、

ヨシ でもね、よかつたつて思うのも悪かつたつて思うのも、自分だから。

リサ いいのよ。私がそうしたいから、一緒にいるんだから。

全員 秋は焼き芋

たえ うつくしきもの。むつかしげなるもの。

キヨ 近うて遠きもの、遠くて近きもの。

フサ 時代が変わっても、人ひとりは何にも変わりませんよ。

キヨ お饅頭……。

全員 冬はささくれ

ミズキ 女ひとりすむ所は、さびしげなるこそあはれなれ。

朱美 別にいらぬし。私、仕事に生きるし。

カナ いやそりゃ妬むけど。

全員 春は。

ヨシ 春はあけぼの。

ヨシコを残し、全員去っていく。

【3 病院にて】

ともかくにも、あやしうつぶれがちなるものは、胸にこそあれ。

よべ来はじめたる人の、今朝けさの文のおそきは、人のためにさへつぶる。

清らにと思ふもの貼りて重し多く置きたる。

親にまれ子にまれ、大方わが大事に思ふ人の心地あしなど言ひて、例ならぬ気色なる。

ところ変わり、病室。

ヨシコがベッドで休んでいると、キヨコとフサコが窓からやってくる。

キヨ ヨっちゃん。

ヨシ ン……？

キヨ ヨっちゃん。起きて。ヨっちゃん。

ヨシ ン……（起きる）……キヨちゃん？

キヨ ヨっちゃん。

ヨシ えー！？ キヨちゃん？ 本当に？

フサ ヨっちゃん！

ヨシ フサコちゃん！

フサ 久しぶり。元気にしてた？

ヨシ 元気よー！ あらあらまあまあ、どうしましよ、びっくりしちゃった。

キヨ 久しぶりだねえ。

ヨシ キヨちゃん、本当に久しぶりねえ。最後に会ったのが23歳の時だから……

キヨ もう60年くらい。

フサ キヨちゃんはホントに早かったわよね。私とヨっちゃんは15年ぶりくらいかしら。

ヨシ そうそう、そうだった。確かフサコちゃん、久しぶりに会ったと思ったら、すぐ会

えなくなっちゃったのよ。

フサ そうそう、ヨっちゃんの旦那さんのお葬式だったわね。

ヨシ なんだか昨日のことみたいね。

キヨ 本当にね。

フサ キヨちゃんは昔から変わらないのよね。私、会ってすぐに分かったもの。

ヨシ そうね。私もすぐに分かった。

キヨ そんな事言ったら、ヨっちゃんも全然変わってないよ。

ヨシ ええ？ 私はほら、もうすっかりおばあちゃんよ。孫もいるんだから。

フサ いいわねえ。私は結局見ずじまいだったわ。

ヨシ 可愛いのよ。女の子2人なの。下の子は親元離れたんだけど、そう遠くないところ

に住んでいるのよ。だから、2人ともよく会いに来てくれる。

フサ いい子なのねえ。

キヨ それじゃあ、賑やかに暮らせてるんだね。

フサ そうね。旦那さんいなくなって、私もすぐ後にいなくなっちゃったから、落ち込ん

でるんじゃないかしらと思っ、心配してたのよ。よかった、元気そうで。

キヨ 変わらない？

ヨシ おかげさまで。

キヨ 私からみたら、ずいぶんいろんなものが変わっちゃってるけど。あら、これなあに？

ヨシ ああ、ラジオや音楽を聴くもの。息子が持ってきたのよ。なんていったかな……

フサ まあ、随分小さいのね。

ヨシ しかも、電池で動くのよ。単三電池。  
キヨ 便利ねえ。あら、これは？  
ヨシ それはスマートホン。電話とかね、メールできるのよ。孫がくれたの。  
フサ これ、ボタンないの？  
ヨシ これをね、画面をね、押すのよ。(ギョツと押す)ね？  
キヨ まあー進化してるのねえ。あら、これは？  
ヨシ これはね、光るのよ。ほら、夜に本読んだりするときね、便利なものよ。  
フサ 明るいわねえ。  
ヨシ 明るいのよ。これも電池なの。  
キヨ これも？  
ヨシ そう、電池なのよ。大きい単三電池、1つでいいのよ。これも孫がくれてね。  
フサ 若い人は便利なものたくさん知ってるから。  
ヨシ そうそう。  
キヨ あら、このお花も、お孫さん？  
ヨシ あ、それは……違うの。  
キヨ じゃ、息子さん？  
ヨシ えっと……  
キヨ なあに？  
フサ 何かあるの？  
ヨシ ……あのね、お父さんには内緒にしておいてくれる？  
フサ 旦那さんに？ どうして？  
ヨシ ちよつと……  
フサ あら、何？ 秘密のお話？

ヨシ 秘密ってわけじゃあないんだけど……笑ったりしないでね。  
キヨ なになに？ 言って言って。  
ヨシ あのね、つい最近のことなんだけど、私……このお花と一緒に、お手紙をもらったの。  
キヨ 手紙？  
ヨシ そう。(手紙を渡して)これ。  
キヨコとフサコ、手紙を開く。  
キヨ 「拝啓 302号室の君へ。花の色が美しい季節になりました。貴女様に置かれましては、先日も美しい白髪が春の光を受けて、耀いている姿をお見かけし、華やかな笑みに私も穏やかな心持にさせていただきましたきました次第です。」……あら。  
フサ あらあら、これって……  
キヨ ラブレターなの？  
ヨシ ……そうなの。  
キヨ あらー！  
フサ まあまあまあ。  
キヨ これ、最近もらったの？  
ヨシ そうなの。こっちに入院してきてから、出会った人だから……。  
キヨ あらー……(昇る)  
フサ まあまあまあ。素敵ねえ、ね、キヨちゃん。  
キヨ ……。  
ヨシ ……キヨちゃん？

フサ あら、昇っちゃったわ。  
ヨシ 昇っちゃったの？  
フサ 時々昇天しちゃうのよ、キヨちゃん。  
ヨシ 器用ねえ。  
フサ あら、まだ何か入ってる。  
ヨシ あ、それはね。一緒に行きませんか？  
フサ 若い方なのねえ。  
ヨシ うん、私よりもだいぶ年下。  
フサ どんな人？ かつこいい？ 裕次郎に似てる？  
ヨシ 裕次郎には似ていないけれど……優しい人。  
フサ 旦那さんより？  
ヨシ お父さんは……比べられないわ。全然。  
フサ あら。  
ヨシ だってお父さんたら、昔からぶつきらぼうで、仕事ばかりで、酒癖も悪くって。  
お花だって、お父さんに貰ったことなんて、50年で1回しかないのよ。それにくらべたら、穏やかで、礼儀正しくて……。  
キヨ お手紙の人、とっても良い人なのね！  
フサ 戻ってきた。  
ヨシ お帰り。  
キヨ それで？ お返事は？  
ヨシ えっ？  
キヨ ちゃんとお返事したの？  
ヨシ それは、まだ……。

フサ どうして？ すごくいい人そうじゃない。  
ヨシ だって……私なんてもう、おばあちゃんよ？  
フサ ばつかねえ、関係ないわよ。行っちゃいなさいよ。  
ヨシ でも。  
キヨ そうよお、「命短し、恋せよ乙女」よお。  
フサ アンタが言うのと説得力あるわねえ  
キヨ 命短いことに関して、アタシの経験値に勝る女はなかなかないわよお。  
ヨシ でもねえ……相手のこともよく分からないまま、そんな……ねえ。  
フサ 何言ってるの。そんなのお見合いみたいなもんでしよう。  
キヨ お見合いに関して、フサちゃんの右に出る女はなかなかないわよお。  
フサ お見合いだって恋愛だって、はじめからよく知った相手ばかりじゃないでしょう。  
お互いについてよく知るために、逢瀬を重ねるんでしょう。ね？  
キヨ 深いわあ。深みがすごいわあ。  
フサ そもそもね、悩んでる時点で気があるんじゃないの。興味がなかったら、捨て置いて  
ばいいんだから。ね？  
ヨシ そ、そうねえ……。  
キヨ 何割？  
ヨシ え？  
キヨ 何割好きなの？ その……あら、名前なんだったかしら。  
ヨシ セイジさん。  
フサ あらーイケメン感のある名前ねー。  
キヨ その、セイジさんのこと、どれくらい好きになれそうなの？ 何割の確率で。  
フサ そうね、そこ大事だわね。

ヨシ そうねえ、まあ……4割ぐらいかしら。

キヨ・フサ 4割！

フサ なによ、4割もあるんじゃない。

ヨシ え？

キヨ なら全然問題ないわね。

ヨシ そうなの？

キヨ あのね、ヨっちゃん、なにも処女ってわけじゃないんでしょ？

フサ (「処女」のところでせきばらい)

ヨシ やだ、ちよつと、キヨちゃん！

キヨ あらもう、気にしちゃうの？ そりゃあね30代に差し掛かった頃に経験が無かつたらね、ちよつとデリケートな問題になるかもしれないわ。うん。で、ヨっちゃん、

今いくつだったけ？

ヨシ 今年で85。

キヨ 85歳で処女だったらあんた、もうアタシらも何も言わないよ。尊いレベルだわ。

フサ (「処女」のところでせきばらい)

キヨ でもね、そうじゃないんでしょ？ でしょ？

ヨシ ま、まあそれはそうかもしれないけど……

キヨ 1回目越えたらあんた、2回目3回目は何てことないんだから。どんと胸張って股

開いておいたらいいのよ。

ヨシ すごい体勢にならない？

キヨ なるー……(昇る)

ヨシ ……

フサ ……。あら、昇っちゃったわ。

ヨシ 自由なのは変わらないねえ。

フサ 付き合ってた嫌だったら、やめればいいのに。

ヨシ ええ？

フサ 結婚だってそうよ。

ヨシ フサコちゃん、現代っ子ねえ……。

フサ 何言ってるの。大昔だってね、再婚なんて当たり前だったんだから。あのね、若い頃ゴージャス嫌いだっただけでしょう。苦くって。だけど、大人になったら美味しく感じた

りするでしょう。ね？ 恋愛だってアンタ、そうよ。一生のうちで変わっていくもの

のなんだから。

ヨシ そんなものかしら……。

キヨ そんなもんよ。

フサ あら。戻ってきたわ。

ヨシ でもねえ……お父さんが待ってると思っただらねえ。

キヨ まー、ヨっちゃんは一途ねえ。

電話の音。

ヨシ あら、もうこんな時間。

キヨ もう？

フサ あつという間ね。

リサ もしもし。……はい、私です。

キヨ 久しぶりで話しこんじゃったわ。

フサ じゃあ、1回出ましょうか。

リサ ……え？ 急に？ ……はい、ええ。大丈夫です。すぐに行きます！

ヨシ いいのに。孫が来るのよ。会ってやって。

フサ いやあね、会えないでしょ。せつかくだから、この辺見て回ってみましょ、キヨちゃん。

キヨ そうねえ。随分久しぶりだもんねえ。

「キヨ」の着信音。

フサ じゃあね、準備が終わったら、また合流しましょ。

ヨシ 分かった。

キヨ またあとでね。

ヨシ はい。

フサコとキヨコ、出て行く。

ヨシコは、2人を見送り、再び眠りにつく。  
間。

リサが駆けこんでくる。

リサ おばあちゃん！ おばあちゃん！

ヨシコは起きない。

リサは、ヨシコの身体を叩いてみるが、やっぱり起きない。

リサ おばあちゃん！ 起きて！ ねえ、顔を開けて！

ヨシコは起きない。

リサ、突然の大声。

ヨシコが飛び起きる。

ヨシ ひゃああ！ な、え？ な、なに！？

リサ ああ！ 良かった。起きた！

ヨシ リサちゃん？

リサ おばあちゃん！

ヨシ ああ、リサちゃん……。

リサ 分かる？ 私のこと。

ヨシ 何言ってるの。リサちゃんでしょう？ よく来たね。

リサ 大丈夫？ 病院から電話があったんだよ。急に容態が変わったって。

ヨシ 容態が？

リサ そう。

ヨシ 私のが？

リサ そう。

ヨシ そうだったの。

リサ 覚えてないの？ 苦しくなったとか、おかしくなったとか。

ヨシ なんにも、変わりありませんよ。私は。

リサ そう……。元気そうだから、良かったけど。

ヨシ 元気よ。元気。

リサ 忘れてることとかない？

ヨシ ないない。

リサ 今日の朝ごはんは覚えてる？

ヨシ デザートに杏仁豆腐が出た。

リサ 昨日の出来事は？

ヨシ 映画を見た。

リサ タイトルは？

ヨシ アナ雪。

リサ おばあちゃん！

ヨシ エルサ！

リサ・ヨシ 生まれーてーはーじめーてー

友世の声 おばあちゃん！ 入るよ！

友世が駆け込んでくる。

ヨシ・リサ あっ、友ちゃん！

友世 (ヨシコを見て) なんだ、元気なんじゃない。

リサ 友ちゃん、走ってきたの？

友世 だって、LINE！

ヨシ 何て送ったの？

リサ 「病院から連絡があったから、来てね」って

友世 違う！ 「ババヤバみ 病院」。これだけ。

リサ そうだったっけ？

ヨシ それは焦っちゃうわねえ。

リサ 私も焦ってて、早く連絡しなきゃって思って。

友世 やめてよ、中途半端にビビらせるの。しかも「ヤバみ」って。

リサ 何？

友世 何普通に使えてんの？

リサ え？ 普通じゃない使い方ってなに？

友世 そうじゃなくて、何でお姉ちゃんがこんな言葉知ってるの。

リサ ああ、かのビッピに教えてもらったのよー。

ヨシ ああ、リサちゃんの彼女さんね。相変わらず仲いいのねえ。

リサ うーふーふー 聞きたい？ 聞きたい？ かのビッピの話。

友世 ううん、聞きたくない。

ヨシ うん、うん。聞きたい。

友世 おばあちゃん！

リサ あのねえ、この前は、久しぶりに遠出したんだけど。

ヨシ 久しぶりだったの？

リサ そうなの。最近、就活で忙しいみたいで、全然会えてないの。でも、LINEはしてる

んだけどね。この前は、ホント久しぶりにデートして、海に行ってきた、土日だっ

たから露店が出てたね。お土産を2人で買ってねえ。

ヨシ 楽しかったのねえ。

リサ うん。かのピッピは優しく、かわいくて、それでね、この前言ってくれたの。  
ヨシ なんて？  
リサ 「リサを守るくらい、強くなりたい」って。  
ヨシ あらーかわいくて、格好いいのね。  
リサ そうなの！ かっこいいの、私のかのピッピ。  
友世 ……じゃあ、私帰るから。  
ヨシ 帰っちゃうの？  
リサ 帰っちゃうの？  
友世 だっておばあちゃん元気だし。お姉ちゃんのろけ話聞きたくないし。  
リサ 聞いてよー。  
友世 やだ。だって長いんだもん。だいたい何？ かのピッピって。ピッピって何なのよ。  
ボケモン？  
リサ 違うわよ。全然違う。愛と平和なの。  
友世 え？  
リサ かのびっぴの「び」は、ラブ&ピースの「び」。  
友世 は？  
リサ かのびっぴの2つ目の「び」は、peopleの「び」。  
友世 はあ……  
ヨシ じゃあ「ちいさいつ」は？ 「ちいさいつ」。  
リサ 「ちいさいつ」は、（一歩踏み出して）、の「ちいさいつ」！  
友世 ……  
ヨシ なんの「つ」？  
リサ （一歩踏み出して）の「ちいさいつ」！ 2人の距離を縮める大切なアクション。

ヨシ ああ！ なるほどねえ。  
友世 天然……いや、馬鹿か……。帰るね。  
リサ 待つて待つて。一緒に帰ろ。  
友世 何で。  
リサ 今日、泊まっていつて。  
友世 ええ？ 明日も仕事なんだけど。  
リサ うちから行けばいいじゃない。御線香あげに来て。ね、ね。お母さんたち、旅行行っちゃうのよ。  
友世 また？  
リサ また。  
ヨシ ラブラブねえ、相変わらず。  
友世 なら、かのピッピの所に行けばいいでしょ？  
リサ 今日は忙しいんだって。最近そんなのばかりで、全然会えなくて。  
友世 私だって忙しいのに。  
リサ 仕事？ プライベート？  
ヨシ そういえば、友ちゃんはどなの？  
友世 何が。  
ヨシ 彼ピッピよ、彼ピッピ。  
リサ あ、おばあちゃん、使い方バツチリ。  
ヨシ 本当？ そうでしょ？ 後ろに、ピッピをつけるってことだと思って。  
リサ そうそう。  
ヨシ 前じゃあないのよね、ピッピ彼じゃあないのよね。  
リサ うん。ピッピ彼は聞いたことない。

友世 帰る。

リサ 待つて。

ヨシ 待つて。

友世 付き合ったられない。

リサ 付き合ってるの？

友世 付き合ってるの！

リサ 付き合ってるの？

ヨシ あら、あんまり良くないんじゃない？

友世 誰のせいだと……待つて、何の話？

リサ 彼ピツピでしょ？

ヨシ 上手くいってないの？

友世 ……別に。近いうちに結婚するし。

リサ ええ？！

ヨシ あらあら、そうなの？

友世 そういう話で進んでるから。

リサ ええ？！

ヨシ あらあら、そうだったの。

リサ 友ちゃん待つて。私全然知らないんだけど……いや、結婚しようと思ってるのは知  
つてたけど、そんなに決まってたの？ え？

友世 そのうち、声かけようと思つてたよ。

リサ そうじゃなくて！ お姉ちゃんに一番に言つてよ！

友世 何で。

リサ お姉ちゃん寂しい！

友世 うつぎ。

ヨシ いいわねえ、2人とも、仕事して、恋人がいて、姉妹仲良くて。若いって感じねえ。

友世 もう若いって歳じゃないよ。

ヨシ 私に比べたら若いわ。

友世 おばあちゃんと比べないでよ。

リサ 大丈夫よ、おばあちゃんもまだまだ若いんだから。

ヨシ リサちゃんは幸せいっぱいって感じだもんねえ。

リサ うーふーふー。

友世 ……まあ、アンタはそうしとけばいいんじゃない。

リサ 何？

友世 別に。じゃあ、ホントに帰るから。

リサ ああ、待つて待つて。私も帰るから。ちよつと待つて。

友世 何？

リサ お手洗い。

友世 もう……。

リサ、出て行く。

ヨシ あらあら、もう帰っちゃうの？

友世 おばあちゃん、夜更かしはほどほどにしなよ。

ヨシ はいはい。

友世 ホントに悪い所ないんだよね？

ヨシ ありませんよ。大丈夫。

友世 そう……。  
ヨシ 友ちゃん。  
友世 ん？  
ヨシ 大丈夫よ。  
友世 え？ うん、分かったって。  
ヨシ ちがうちがう。  
友世 何？  
ヨシ 何にも気にしなくていいのよ。大丈夫。  
友世 ……何の話？  
ヨシ うん。  
友世 うんって。  
ヨシ 彼ピッピ、どんな人？  
友世 え？ どんなんて…普通だよ。普通の人。  
ヨシ いか連れてきてね。  
友世 ああ、まあ…そのうち。  
ヨシ うん。  
友世 ……おばあちゃん。  
ヨシ うん？  
友世 何か言いたいことあるの？  
ヨシ なんにも。友ちゃんが幸せなら、それでいいの。  
友世 ……別に今不幸じゃないし。仕事して、それなりのお給料で、あとは結婚して、子ども産んで。それで、大体幸せでしょ。

---

ヨシ そうねえ。大好きな人が現れて、その人が旦那さんになって、毎日晩御飯と一緒に食べるのを楽しみに、帰ってきてくれたなら。子どもがすくすくと成長して、旦那さんも段々偉い人になって。ああ、最近は転職する人も多いんだっけ？  
友世 まあ、それも人生のキャリアアップの為なんじゃない？  
ヨシ 大切な人の支えになるって、幸せなことだと思う。  
友世 ……「えせ幸い」か。  
ヨシ 何？  
友世 別に。つまりおばあちゃんは、結婚して家に入って、旦那と子供のために生きるのが幸せって、そう言いたいってことね。  
ヨシ あら、そんなことないわよ。  
友世 ええ？  
ヨシ これはあくまでも、おばあちゃんのお話。まあ、おじいちゃんとは晩御飯一緒に食べるなんてほとんどなかったけれど。  
友世 そうなの？  
ヨシ だから、これはおばあちゃんの憧れのお話。でも、友世ちゃんの幸せは友世ちゃんが決めることなのよ。  
友世 おばあちゃん。  
ヨシ 「えせ幸い」。周りに惑わされちゃあいけないよ。  
友世 知ってたの？  
ヨシ だって、この言葉をお母さんに教えたの、おばあちゃんだもの。  
友世 ……おばあちゃん、私。  
ヨシ うん。  
友世 ……だって、お姉ちゃん、あんなだし…。

ヨシ うん。

友世 ……私が色々、アレしないと……

ヨシ 大丈夫、何でもやってみていいのよ。自分のことも、彼ピツピのことも。

友世 ……その言い方やめてくれない？

ヨシ え？ どうして？

友世 流れ台無し。あと、すごい馬鹿にされてる気がする。

ヨシ 可愛いじゃない、びっぴっぴ……。

友世 頭おかしくなりそう。

ヨシ 大丈夫。

友世 ……。

ヨシ やりたいようにやれば、いいんだっぴ！

友世 はあ……。

リサ、戻ってくる。

リサ お待たせ。暗くなってるよ、外。

友世 当たり前でしょ。

リサ 廊下歩くの、ちよつと怖かった。何か出そうで。

友世 言わないでよ、そういうこと……。

リサ だって。

友世 じゃあね、おばあちゃん。

リサ また来るね。

ヨシ はいはい。またおいで。

リサと友世、出て行く。

ヨシコは、手紙を開く。セイジからもらった手紙と、もう一通。

【4 自宅にて】

うつくしきもの。むつかしげなるもの。  
近うて遠きもの、遠くて近きもの。

ところ変わり、たえの家。

キヨコが寝ている。たえが帰ってくる。

キヨコに気がつく。

たえ ただいまー……。

キヨ ……(寝ている)

たえ ……。

たえ、1回外に出る。

フサコが奥から戻ってくる。

フサ キヨちゃん、そろそろ起きないと。

キヨ うーん……むにやむにや。

たえが帰ってくる。

フサコと目が合う。

フサ あら。

たえ はあー!?

キヨ (びっくりしておきる) 何事?

フサ おはよう。

たえ なんで増えてんのよー!

フサ あら、見えるの?

たえ おおお落ち着いて、警察……警察? とにかく、誰かに連絡を……

フサ まあまあ。

キヨ どなた?

たえ 喋るし!

フサ (立ちあがり) お嬢さん、お嬢さん、落ち着いて。

たえ 動くし!

キヨ もう一眠り……

たえ 寝るし!

フサ キヨちゃん、自由ねえ。

キヨ ヨっちゃんは?

フサ まだ来てないよ。

キヨ あらー。お返事してるのかしら。

フサ まあまあ、今日いっぱいまで大丈夫だから。のんびり待ってましょ。

キヨ そうねえ。

フサ お嬢さん、お饅頭食べる?

たえ はあ……?

フサ ついでにお願いしちゃって申し訳ないんだけど、お茶淹れてくれないかしら。

たえ あ、どちらさま……。

フサ ごめんなさいね、急に上り込んでやって。ちょうど良かったのよー。病院近くで。  
キヨ (急に起き上り) お饅頭…… (昇る)  
たえ (びつくりする) ……  
フサ ……。あら、昇っちゃったわ。  
たえ 昇っちゃった？  
フサ 時々昇天するのよ、キヨちゃん。  
たえ はあ……？  
フサ 見えるのねえ。  
たえ え？  
フサ 私たちのこと。  
たえ えっと、どういう……？  
フサ だって、  
たえ あ、待って。聞きたいけど聞きたくない。  
フサ あら。  
たえ えっと、確認なんですけど、……玄関の鍵が、開いてた？  
フサ いいえ。ちゃんと戸締りしてありましたよ。  
たえ 開けて入ったんですか？  
フサ いいえ。  
たえ じゃ、どこから。  
フサ 窓から。  
たえ ここ、3階ですけど……。  
フサ ええ。  
たえ ど、どうやって。

フサ 飛んで。  
たえ 飛んで……。えっと、つまり、あの……おばあさんたちは、  
キヨ 幽霊だからね！  
フサ あら、戻ってきた。  
たえ ああ……聞きたくなかった……。  
フサ ごめんなさいね。あちこち見て回ってたら、疲れちゃって。ついつい、のんびりしちゃったのよ。はいこれ、お饅頭あげる。私たち、昔からここのお饅頭食べてたの。懐かしくなってねえ、たくさん買っちゃった。  
たえ ああ……どうも。  
キヨ お嬢さんは、ここの方？  
たえ そうですけど……。  
キヨ 良いお部屋ねえ。風も良く通るし、日当たりもいいし。お洗濯ものが良く乾きそう。  
フサ そうねえ。あ、でも、夏は暑いのかねえ。  
たえ そうですね。西日が結構きつくて。いや、そうじゃなくて。  
キヨ ねえねえ、これはなあに？  
たえ え？ ああ、それはテレビ。  
キヨ まあ！ 大きい。  
たえ 小さいほうだと思いますけど。  
フサ そういえば、洗面所にあった大きな機械、洗濯機？  
キヨ ええ？ あれが？  
フサ ドラム式ってやつよね。娘がカタログ見たの思い出した。  
キヨ まあー！（見に行く）  
たえ ちよっと、あんまりうちの中見ないでください。

フサ 慣れてるのねえ、幽霊に。

たえ え？ ああ、まあ……昔から、見える方だったんで。

フサ そうだったの。

たえ こんなにお喋りなのは初めてですけど。

キヨ (奥から) ちょっとフサコちゃん、見てこれ！

フサ なあに？

キヨ、たえのブラを持ってくる。

キヨ 見てくださいいな、これ！ すっごく可愛い！

たえ ちよつと！ 何、え？ 戻してください！

キヨ 大丈夫。綺麗なやつだから。

たえ そういう問題じゃないです！

キヨ しかも、見てこれ(パンツを出し) 上下セットなの！

たえ ちよつと、ええ！？

フサ あらまあ、こんなにモダンな感じになっていたの？

たえ もーやめてくださいよ！

キヨ あら、これはなあに？

たえ ちよつと、もう……それは電気ケトル。お湯を沸かすんです。

キヨ どうやって。

たえ 水淹れて、セットするだけですけど。

キヨ やってみて、やってみて！

フサ 見たいみたい！

たえ ええ……？ まあいいですけど。

たえ、水を入れにはける。

キヨ なんだか良心的な娘さんねえ。

フサ 良かったわ。見えちゃったのはハプニングだったけど。

キヨ 本当にね。あら、これ何かしら。

キヨ、机の上のノートに気がつく。

たえが戻ってくる。キヨに気がつき、

たえ ちよつとちよつと！ もういじるのやめてください。

キヨ これなあに？

フサ 分厚いわね。

たえ (ケトルをセットしながら) 日記ですけど。

キヨ あら、日記？ 乙女の日記ね？

フサ 危ない所だったわね、キヨちゃん。女の子の日記は命より大切なんだから、見ちゃダメよ。

ダメよ。

たえ いや、さすがに命まではないですけど。見ないでください。

フサ ほら、ダメよキヨちゃん。

キヨ 分かってる。ダメよね。

フサ・キヨ ……。

たえ ……なんですか。

フサ ううん？ なにも。

キヨ 日記の中身が気になってる訳じゃないのよ。

たえ そうですか。

フサ そうよ。死んでるからってね、見ていいものと見ちゃいけないものがあるわよね。

キヨ そうね。幽霊にだって、エチケツトはあるものね。

たえ ……。

お湯が沸く。

たえ はい、沸きました。

キヨ ええ？ もう？

フサ 早いわねえ。

たえ お茶淹れてきますね。

たえ、ケトルを持ってはける。

キヨコ、たえを見送り、日記に手を伸ばす。

フサコ、慌てて止める。

フサ (小声で) キヨちゃん！ ダメよ。

たえ (声だけ) 緑茶でいいんですよ？

フサ ええ！ ありがとう。

キヨ (小声で) フサちゃん、見てこれ、鍵穴がある。

フサ (小声で) あらホント。さ、戻して戻して。

キヨ (小声で) 気になるわあ、現代の乙女の日記。

フサ (小声で) 私だって気になるけれど、そ知らぬふりをするのが大人ってものよ。

キヨ (小声で) あら、私は永遠の子どもよ。

フサ (小声で) 何言ってるの、24歳なら立派な大人でしょ。

たえ、急須とマグカップを持って出てくる。

キヨコ、フサコと目が合う

たえ ……。

フサ・キヨ ……。

たえ もう…：…勝手に見てください。

キヨ いいの？

たえ 絶対他人には言わないでくださいよ。

フサ 大丈夫よ、言いたくも言えないから。

キヨ、日記を読み始める。

たえ 他人の日記の何が面白いんですか。

フサ 日記というより、今の時代のことを知りたいのよ。

たえ はあ…：…。紙の日記書いてる人は少ないと思いますよ。

フサ あら、そうなの？ 何で書くの。

たえ ケータイで。

フサ ああ、なるほどねえ。

たえ おばあさんは、読まなくていいんですか。

フサ 私はいいのよ。あとで。

たえ 読むは読むんですね。

フサ キヨちゃんね、24歳で亡くなったのよ、病気で。まだ若かったのに、ずっと病院で寝たきりで。最後には、随分苦しい思いしたのよ。年頃の楽しみを1つも経験できずに、死んでしまった。

たえ ……そうですか。(ふと考えて)…でもそれは私の日記を読む理由にはならないですよ。

キヨ お嬢さん！ ちよつとちよつと。

たえ はい？

キヨ この、ちよくちよく出てくる「鎌足」さんっていうのは、何かねえ。

たえ アイドルの名前です。

キヨ アイドル。

たえ 今をときめく週初めゆるふわ韓流ロックアイドル、鎌足です。

フサ 何？ 今を？

たえ ときめく

キヨ どういうこと？

フサ 今すぐときめいてるってこと。

キヨ 誰が？

フサ ご本人が。今をときめく？

たえ 週初め。

フサ 一週間の初めね。

たえ ゆるふわ

フサ ゆるゆるでふわふわってことね。

たえ 韓流。

フサ 韓流？

たえ 韓国です。今、K-POPが人気なんです。

キヨ まあ…韓国の人が人気なの。

フサ 時代を感じるわねえ。

たえ まあ、鎌足は日本人なんですけど。

フサ そうなの？

たえ 昔、韓国人のメンバーがいたなごりなんです。

キヨ 何だか騙された感じだわ。

フサ それで、韓国の、なんだっけ？

たえ ロックアイドル。

キヨ ロック。

フサ 音楽の種類。

キヨ 名前が長いわねえ。

たえ 売れなかった時期にいろんなジャンルを詰め込んで、それで、ある時バカ売れしたんだけど、結局何が良くて売れたのか分かんなくて、全部残したら長くなっちゃったんです。

フサ あらあら。

たえ 分かりました？

キヨ 苦労したってことね。お嬢さんは、その「鎌足さん」が大好きなのね。

フサ なんだっけ、そうね、韓流鎌足ね。

たえ 略しすぎ…。

キヨ なるほどねえ、(日記に目を戻し)分からない言葉がたくさん。古典を読んでもみ  
たいだわ。

フサ やだ、キヨちゃん、逆でしょう？

キヨ そうだった。あら、今日のはまだ書いてないの？

たえ まあ、さっき帰ってきたんで。

キヨ 今日は何があったの？ 教えて教えて。

たえ 今日は……(ため息)。

フサ あら、なんだか浮かない顔ね。嫌なことがあったの？

キヨ やだ、思い出させちゃったかしら。

たえ 嫌なことっていうか……今日は、色々あったんです。(背を向ける)

キヨ 何かしら。

フサ お仕事で何かあったってことよね。

キヨ あっイジメ？ 女は怖いからねえ。

フサ そうねえ。女の友情は、中々長続きしないものよねえ。

キヨ 私たちも色々あったわね。

フサ でも、彼女「嫌なことじゃない」って言ってわ。

キヨ あ、そうか、そうよね。じゃあ……告白されたとか。

たえ (勢いよく振り向く)

フサ あら。

キヨ あらあら。

たえ (再び背を向ける)

フサ 当たりかしら。

キヨ 当たっちゃったのかしら。

たえ ……それだけじゃないですけど……。

キヨ 何？ 教えてちょうだいな。

フサ 私も気になる。

たえ 何なんですか、その食いつき方は。

キヨ 気になるんだもの。

フサ 色恋の話はいつまでたっても気になるわねえ。

キヨ いいじゃない、死人に口無しって言うし。

たえ 自分で言わないでくださいよ。

フサ どうせすぐいなくなっちゃうから。

キヨ 独り言だと思って。ね、ね。

たえ はあ……。チケットがなくなっただんです。

キヨ チケット？

たえ 鎌足のコンサートチケット。

フサ あら、一大事じゃない。

たえ 職場の人も手伝ってくれたんですけど、まだ見つかってないんです。

キヨ 困ってるのね。

たえ すごく。

フサ その割に落ち着いているのねえ、お嬢さん。

キヨ あんまり気合入ってる感じじゃないわね。

たえ ああ、職場でテンション上げてるんで。

フサ ふーん？

たえ 家では無理したくないんです。

キヨ 職場では無理してるの？

たえ 無理ってほどじゃないですけど。キャラってあるじゃないですか……って、わか  
らないか。

フサ 偽りの自分を演じてることかしら。

たえ そこまででもないですけど……まあ、そんなところですよ。

キヨ それで？ 職場の人に告白されたの？

たえ (首を振る) チケットが無くなって、見つからないから、ファンサイトで言ったん  
です。

フサ ファンサイト？

キヨ 何？ ファンサイトって。

たえ インターネットで、鎌足が好きな人同士が繋がっているんです。世界中の鎌足ファ  
ンがやり取りできるんです。

キヨ まあ！

フサ 便利だわねえ。何でも世界規模なのね。

キヨ 世界規模……(昇る)

フサ ……

たえ ……

フサ あら、昇っちゃったわ。

たえ どういう理屈なんですか？ これ。

フサ ごめんなさいね、話の腰を折っちゃって。続けて。

たえ いいんですか？ この人放っておいて。

フサ いいときに戻ってくるから。

たえ じゃあ……。それで、サイトで発言したら、個別で、よくやり取りしていた人から  
連絡があつて。その人から言われたんです。

フサ なんて？ なんて？

たえ 付き合ってほしい的な。

フサ それだけ？

たえ それだけじゃないですけど、平たく言うとそれっぽいことを。本当は今度のコンサ  
ートで言おうと思っていたけど、私が行けるか分からなくなったから、焦ったって。

キヨ あらー！

フサ 戻ってきた。

たえ びっくりした。

キヨ 気の小さい人なのかしらねえ。

フサ せっかちな人なのかもしれないわ。

たえ どうなんでしょうね。分かりませんが。

キヨ それで？ お返事は？

たえ え？

キヨ もうしたの？

たえ いや……

キヨ (返事を待たずに) イエスって？ あらー！

たえ いや、だから。

フサ おめでたいわねえ。式はいつ？ どこをするの？

たえ しません。

フサ 衣装は？ ケーキは？ ゴンドラは？ 今流行りじゃないのかしら。

たえ ゴンドラ？

キヨ 向こうの親御さんには会ったの？

たえ いや、だから。

フサ 早めに会っておいた方がいいわよ。ていうかね、旦那よりも旦那の親と相性がいいか見てから考えた方がいいわ。

キヨ フサちゃんさすがだわあ。深いわあ。

たえ ああ、ていうか。

キヨ うん？

たえ 本人にもまだ会ったことないんで。

キヨ ええ？

フサ どういうこと？

たえ えっと、これ時代の違いあると思うんで、伝わるか分かんないんですけど……。

キヨ 大丈夫。頑張るわ、私たち。

フサ ええ。ついて行ってみせる。

たえ 私とその人は、ずっとインターネット上でやり取りしていて、実際に会ったことはないんです。

フサ 文通相手みたいなものね。

たえ ああ、そうですね。で、さらに言うと、住んでるところも、本名も知らないんです。

フサ ちよっと危なくなってきたわ。

キヨ 自分のこと？ お嬢さんのこと？

フサ どっちも。

たえ なんなら、男か女かも正直分からないんですけど、たぶん男ですけど。

キヨ まあー全然正体が分からないのねえ。なんだか、私たちより幽霊みたいね。

フサ 本当ねえ。

たえ そんな事言ったら、現代人は大体みんな、誰かにとつての幽霊ですよ。

キヨ わあ、ファンタジック。

フサ それで、つまりお嬢さんは、その、正体のわからないその人とやり取りしていたら。

キヨ 好意を持たれちゃったってこと。

たえ はい。

フサ なんだか不思議。

たえ 私もそう思いますけど……。

フサ 向こうだって、お嬢さんの正体は分からないんでしょう？

キヨ 幽霊に恋しちゃったのねえ。ファンタジック。

たえ まあ、お互い鎌足が好きってことは、良く知っているんですけど。

キヨ どうお返事するつもりなの？

たえ それは……。

フサ そりゃあ、難しいわよね。想像だけで相手のこと判断しなくちゃいけないんだもの。

キヨ そうねえ。ただでさえ、急なお話なのに。

たえ ……それもありますけど。

フサ けど何？

たえ 確かに、相手のことを知ってから判断するべきなんですけど、単純に、恋愛するの、若干面倒くさいっていうのもあるんですよ。

フサ 恋愛するのが……

キヨ 面倒くさい？

たえ 相手のために時間とって、化粧したり、料理したり、ラインしたりって。

キヨ 線を引くの？ なのために？

たえ 線？ ……ああ、ラインですよ。ケータイでやり取りができるアプリ……つまり機能です。

フサ 幽霊の送ってくるメッセージは、実体がないのねえ。

キヨ 手紙も良かったけどねえ。あの、封を切って、手紙を開く瞬間が良いんだもの。アレがないのは、寂しいわねえ。

たえ はあ。

フサ 恋文とか、よくやりとりしていたわ。返事を待っている間、そわそわしちゃってね。

たえ でもそれって、最初のうちだけでしょ？ だんだん、相手に過剰に構うのめんどくさくなりそう。

フサ そう？

たえ 恋愛だけに時間割けないじゃないですか。

キヨ お嬢さんのタイムスケジュールには「恋愛」って項目があるの。

たえ っていうか、気持ちのウエイト？ みたいな。束縛とかされたくないし。

キヨ 束縛？

たえ 時々いるんですよ、そういう男。いちいち連絡しなきゃいけないとか。今どこで何してるのか気にしてほしい、みたいな。私は、そういうの気にならないし、されたくもないし。

フサ あらー。まあ、連絡が取りやすい時代だもんね。

たえ おばあさんたちは、そんなことなかったかもしれないけど。

フサ まあね。連絡したくても、今どこで何してるかなんて、すぐにはわからなかったし。

キヨ 気にしようがなかったねえ。

たえ いいなあ、楽で。私も、それくらいがいいですよ。

キヨ 楽かどうかは、人それぞれよ。そりゃあ、不安にもなりますよ。何の連絡もないままだと、疑っちゃうことだって。

たえ 今は、近すぎて面倒くさく感じちゃうんです。

フサ 障害があるほど恋愛は盛り上がるって言うけど、今の子達はお互いが障害になってるのね。

キヨ 深いわねえ。

フサ でもそんなこと言ってたら、結婚は？

たえ はあ。まあ、だから、私結婚できないタイプだと思います。

キヨ 結婚できないタイプ。

たえ いると思うんですよ。結婚できるタイプと、出来ないタイプ。

フサ 達観してるのねえ。最近の子は。

キヨ 相手がいるかどうかはあったけど、自分が結婚できるかできないか、なんて、考えたこともなかったわ。

フサ でも。

たえ なんですか？

フサ 結婚って、出来るかどうかじゃなくて、したいかどうか、だと思っただけ。

たえ はあ。

フサ あら、ピンとこない？

たえ いまひとつ。

フサ 私はね、2回結婚しているの。

たえ え、そうなんですか。離婚したってこと？

フサ そうそう。1回目は同世代の人。当時は2人とも若かったし、親族からも色々言われていたから、お見合いしたのよ。それで、まあ悪い人ではなかったし、私もヤア言われるのが面倒だったから、そのまますぐ結婚したの。

キヨ お見合いしてから、本当に早かったのよ、フサちゃん。びっくりして、慌ててお祝いを買に行ったんだから。

フサ そうだったわね、あの時の食器、まだ使ってるのよ。

キヨ でも、離婚しちゃってね。

フサ そう。やっぱり違うかもって思ってた。その後しばらくして、今度もまたお見合いで出会ったの。いい加減、親も心配していたんだろうねえ。2回目の相手とは、じっくりお付き合いしてみたら、結婚した。

たえ 自分と相性があるか、判断したってことですか？

フサ それもあるけど……一番は、老後の安定ね。ご両親との仲とか、経済力とか、お家の事情とか、色々探ったものよ。

たえ 随分現実的ですね。

フサ 若い頃の恋愛は、若い時に経験したからね。今度は、落ち着いた結婚生活が良かったのよ。結局、15歳も年上のその人と再婚して。

たえ 15!?

キヨ その時も急な連絡だったわねえ。フサちゃん、決断したら早いから。

フサ そりゃあね、もたもたしてたら相手が死んじゃうからねえ。

たえ そんな不謹慎な……。

キヨ そんなこと言ったら、ラブラブだったんでしょ？ こっちに来てすぐに、旦那さんに会ったものねえ。

フサ もちろん。だって結婚したいと思った相手だもの。置いて逝かれたときは、本当に悲しかった。

たえ はじめは利害の一致だったんでしょ？

フサ ちゃんと愛情もありましたよ。お互いに、そういうの全部ひっくるめて、決めたいんですから。

たえ そんな都合のいい人、いるもんですか？

フサ そこは、努力と妥協。

キヨ 深いわあ。経験者は違うわあ。

フサ お嬢さん、今おいくつ？

たえ 28です。

キヨ 若いわねえ。

フサ まだまだ、心持ちがどうなるかはわかりませんよ。結婚なんて、小石に蹴つまずくようなものなんだから。

たえ でも、無理だと思いますよ、私には。まず一人暮らしに慣れすぎてて。人と暮らすの、たえられないですもん。

キヨ あら、別居にすればいいじゃない。

たえ ええ？

フサ 意外と真面目なのねえ、考え方が。

キヨ 夫婦と一緒に暮らさないといけないなんて、そんな決まりないでしょう。

たえ いや、ないにしてもですね……。

キヨ でもいいわねえ、そういう経験があるって、素敵だわ。

たえ え、キヨさんって……。

キヨ 最後の方はずうつと病院だったからねえ。私は本当に、結婚「出来ない」タイプだったわ。

たえ ……すみません。

キヨ まあまあ、いいのよう。私だって、恋、したことあるわよう。

フサ あら、私知らないわ、そんな話。

キヨ もうメロメロのドキドキのデロデロだったんですから。

たえ デロデロってなんですか。聞いたことないですよそんな表現。

キヨ それはー……（昇って去っていく）

たえ ……ああ。

フサ 昇っていったわ。

たえ そういうパターンもあるんですね。

フサ ねえお嬢さん、別にいいのよ、人生何したって。好きなことをして、好きなものを買って、好きな人と出会って。結婚しようと思ったら、してもいいし、しなくてもいいし。お仕事を頑張ってもいいし、社会に不満をぶつけてもいい。楽しんでもいいし、悲しんでもいい。誇ってもいいし、嘆いてもいい。出来ないことなんて、この世の中早々ないと思うのよ。

たえ 何でもありつてこと？ おばあさんなのに、考え方が若いですよ。

フサ もう死んじやってるからねえ。怖いものなんてあんまりないのよ。

たえ 私は生きてるし、そんなポジティブには考えられないです。

フサ お嬢さん、今鎌足さんが大好きなのよね。どんなところが好きなの？

たえ え？ うーん……一言では答えられませんが、強いていうなら、カッコかわいいところですよ。

フサ 括弧可愛い？

たえ 記号じゃないです。格好良く、かつ可愛いということですよ。

フサ 格好良く可愛く、なるほどねえ。

たえ 最近はいろんな「かわいい」があるんですけど、私は「かっこかわいい」が最強だと思っんです。

フサ 可愛いに種類があるの？

たえ ありますよ。「キモかわいい」「ブサかわいい」「夢かわいい」「闇かわいい」……。世界共通語なんですよ、「かわいい」って。

フサ そうなの。可愛らしさも日々変わっていつてるのねえ。

たえ 変わるというより、増える感じですよ。

フサ そうね、確かに。どんどん増えているのかも。どんなものがある？ たとえば……

赤ちゃん。花。あ、今時のブラ。

たえ ブラって……えーと、子犬。猫。おしゃれな鞆。

フサ 上目使い。

たえ 人に寄りませんか？ 小さいもの。

フサ 例えば？

たえ ひよこ。

フサ うりぼう。

たえ ミニチュア。

他の女たちが徐々に出てくる。リサと友世、朱美はそれぞれ帰り道。

ヨシコは病室。ミズキとカナはアジトで合流する。

フサ 首飾り ヨシ 香水の瓶。

リサ うさぎ。 友世 リス。

たえ カピバラ キヨ 小鳥！

たえ 戻ってきた。 フサ おかえりなさい。

ミズキ （かわいいもの） カナ （かわいいもの）

朱美 （かわいいもの） キヨ 気持ち悪いモノ。

たえ 気持ち悪い？ キヨ 例えば、大きな毛虫。

フサ 梅雨時期の湿気。 朱美 絡みついた蜘蛛の巣。

友世 (気持ち悪いもの)  
 フサ 厳しいわねえ。  
 リサ (かわいいもの)  
 キヨ ゴキブリ  
 カナ (かわいいもの)  
 たえ ネットの友だち  
 たえ リアルですよ。  
 朱美 (気持ち悪いもの)  
 友世 (かわいいもの)  
 たえ どういうことですか？  
 キヨ 似ているけれど、少し違うのよ。  
 フサ 例えば？  
 朱美 親族の仲  
 友世 姉。  
 キヨ (かわいいもの)  
 たえ (遠くて近いもの)  
 ミズキ (かわいいもの)  
 リサ (気持ち悪いもの)  
 フサ やりたいこと。  
 フサ そう。今。  
 キヨ ブラカねえ  
 フサ 私はお洗濯。  
 フサ お嬢さんは？

たえ セクハラオヤジ。  
 たえ 基本的に、女子とオッサンは相性悪いんです。  
 フサ (気持ち悪いもの)  
 ミズキ 生理中  
 フサ 遠くて近いもの。  
 フサ 極楽。  
 フサ 経験則ね。  
 ヨシ (遠くて近いもの)  
 キヨ 近くて遠いもの。

朱美 (気持ち悪いもの)  
 カナ (近くて遠いもの)  
 ヨシ (遠くて近いもの)  
 友世 (近くて遠いもの)  
 たえ やりたいこと？  
 たえ 例えは？  
 たえ ブラカねえ？  
 たえ そんなに試したい？  
 たえ えっと、チケット探し。

キヨ そうだったわねえ。  
 フサ 見つかるといいねえ。  
 たえ おばあさんたち、超能力とかないんですか。  
 フサ あらー。もう少しお饅頭食べたらね、出来るんだけど。  
 たえ いや、無いならいいんですよ。自分で探しますから。  
 フサ あるでしょう。  
 たえ え？  
 フサ 好きなもの。かわいいと思うもの。そうじゃないもの。やりたいこと。時代が変わっても、人ひとりは何にも変わりませんよ。その時思った物事が、欲していること。  
 たえ ああ……。  
 フサ きつと恋愛もそうね。  
 たえ どうですかねえ。  
 キヨ ロマンチックねえ。  
 たえ そうですかねえ。

3人を残して、女たちは帰っていく。

キヨ ねえ、お嬢さん、結婚や恋愛の客観的な分析は置いておいて、  
 フサ あら、急に難しい言葉。  
 キヨ お嬢さん自身は、相手の幽霊さんをどう思っているの？  
 たえ 死んでるみたいと言わないでくださいよ。  
 キヨ お嬢さんは、どうしたいなと思ってるの？  
 たえ ……話していて、楽しい相手ではあるんです。

フサ そう。

たえ ただ、それは、ネット上の「友だち」として接しているからだ、とも思います。もし、一線を越えて、今までと違う関係になったら、うまくいかないかもしれない。私は、それが嫌なんです。

キヨ そのことを、ちゃんと相手に伝えればいいのよ。

フサ そうそう。ひねくれていないで。

たえ 別に、ひねくれている訳じゃ。

フサ ああ、長々とお邪魔してしまったわねえ。

キヨ そうねえ。もういい時間だわ。

たえ もう行くんですか？

フサ ありがとうね、ばあさんの長話につきあってくれて。

たえ いえ、そんな。こちらこそ、ありがとうございました。

キヨ お嬢さんもいい気分で成仏できるといいわねえ。

たえ ちよつと、やめてくださいよそんな言い方。

キヨ さて、じゃあ行こうかね。

フサ そうね、じゃあお嬢さん。

たえ はい。なんか、いい話聞いて良かったです。お元気で。

フサ 何言ってるの。はい、お財布持って。

たえ え？

キヨ スーパーでお羊羹買いたいのよ。

フサ 今日はとことん好きなもの食べようってことで、夜はお羊羹と決めていたの。

キヨ でもねえ、お饅頭のお店になくって。

フサ そうそう。だから、スーパーしかないのよ。

キヨ お金、後で返すから、一緒についてきてくださいな。

たえ ええ？ なんで私が。自分たちでいけばいいじゃないですか。

フサ そんなことしたら、羊羹が宙を浮きながらお嬢さんの部屋に入っていくのを、たくさんの人が目撃することになるけど、ええかねえ？

たえ ……よくないですけど。え、じゃあお饅頭はどうやって買ったんですか？

キヨ それはねえ。

フサ こつそりね。

たえ 泥棒じゃないですか！

フサ そうそう、だからさすがに何回もするのは心苦しいのもあって。

キヨ せっかくだし、お散歩しましょうよ。

たえ なんか、言いくるめられてる気がするんだけど……。

たえ、そう言いつつ財布を持ってくる。

キヨ そうだ、ついでに神社いかない？ まだ残ってるはずよねえ。

フサ そうだった、忘れてたわねえ。行きましょう行きましょう。

たえ 嫌ですよ、夜に神社とか……。

キヨ 大丈夫よ、幽霊ならもう出てるんだから。

たえ そういう問題じゃないんですよ。

3人、出て行く。

【5 アジトにて】

女ひとりすむ所は、いたくあはれて築土(ついで)などもまたからず、池などある所も水草ぬ、庭なども蓬(よもぎ)にしげりなどこそせねども、ところどころ砂子の中より青き草うち見え、さびしげなるこそあはれなれ。

ところ変わり、アジト。

朱美が入ってくる。カナはブラを解体している。

朱美 おつー。

カナ おつー。

朱美 ……何してんの？

カナ ブラ解体。

朱美 は？

カナ ブラ。ブラジャー。の、解体。

朱美 あっそう……。

ミズキ (スクワットをしながら舞台上を横切り) 人類が誕生した時から乳房はあるが、

ブラジャーという概念が生まれたのは、ほんの100年前のこと。日本では大正時代から洋物下着が回り始める……(去る)

朱美 (ミズキを見送りながら) へえ。

カナ そういうこと。

朱美 どういうこと？

カナ 何があつてこの独特な形をなしたのか。女性たちは何を求め、どのように進化していったのか。我々はどこから来たのか、どこにいるのか、どこへ行くのか……。

朱美 暇だったつてことか。

カナ いけず。

朱美 就活は？

カナ ダメだった。

朱美 はあ……。

カナ ショックから立ち直るために、女性という生物についての理解を深めようかなと。

朱美 はあ……。

ミズキ (ダンベルをしながら舞台上を横切り) 60年代には、ブラジャーを「女性を拘束する象徴」として敵視し、ノーブラの女性がブラジャーを焼く活動もあつた

……(去る)

朱美 (ミズキを見送りながら) へえ。

カナ そういうこと。

朱美 どういうこと？

カナ ブラジャーをする、これ即ち、女性を知ることであるのです。

朱美 なるほど……。

カナ 冷蔵庫にキーキあるよ。

朱美 マジ？ (冷蔵庫に行き) おお。どっちでもいいの？

カナ どっちでもいいよ。私はチョコ食べた。

朱美 あーチョコね。はいはい。甘かった？

カナ え？

朱美 チョコ。甘かった？

カナ そりゃ……まあ。え？ ケーキだよな？ 甘かったけど。

朱美 どれくらい？

カナ え？

朱美 甘さのレベルどれくらい？

カナ え？ レベ……え？ ケーキの甘さぐらいの甘さだったけど。

朱美 ふーん。

ミズキ (なんか筋トレしながら) 女性の方が甘い物好きな印象を持つものには、自律神経

交感神経が関係しているとの説がある。女性は男性よりも血糖値の低下が激し

く、そのために糖分を欲する体になっている……(去る)

カナ ミズキちゃん、それきつくない？

朱美 (帰ってくる) やば、ケーキ久しぶりかも。

カナ (ケーキをみて) え？ チョコは？

朱美 チョコ？

カナ 結局チョコにしないの？

朱美 え？ チーズの方が好きだし。

カナ ……。はあー！？

朱美 (つられて?) はあー！？

カナ なんで？ なんでチーズ行くの？ チーズについて何も聞かなかったじゃん。完全

にチョコの流れだったじゃん！ どこでどう方向転換したわけ？

朱美 どこも何も初めからチーズのつもりだったけど！

カナ はあー！？

朱美 はあー！？

カナ じゃあなんで聞いたよ！

朱美 チーズが美味しいのはわかってるけど、チョコの美味しさがどれくらいかわからな

かったから！

カナ ……。

朱美 ……。

カナ いやこれくだらないわ……キレたけどこれどうでもいいわ

朱美 疲れてんだって。ダメだったのショックなんだって。いいからブラ解体しなよ……。

カナ そうする。

朱美 そうしなよ。もう……私のケーキ半分食べなよ。ストレス解消になるから。

カナ 優しさ溢れてる……。

ミズキ (なんか筋トレしながら) ストレスを感じているときに、お菓子を食べるのは逆

効果になる可能性が高い。糖分や脂分の過剰摂取は血糖値の急上昇と急低下に

繋がるため、負のスパイラルとなる……(去る)

カナ そういうこと言っちゃう？

朱美 ミズキちゃん厳しい。

カナ でもいい！ 食べちゃう！ 私食べちゃう！ そんでブラ解体する！

朱美 あっそ。

カナ ホントにいいの？ 半分。

朱美 イイよ。晩御飯食べるし。

カナ ダイエット？

朱美 そういうんじゃないくて。

カナ 彼氏？

朱美 はあー？

カナ あら、禁句だった？

朱美 別に。彼氏とか今、別にいらなしい。私、仕事に生きるし。

カナ まだ若いのに……

朱美 はあー？ あんたら大学生とは違いますからあ。

カナ はいはい、ごめんごめん。

朱美 どういつもこいつも、口を開けば彼氏彼氏うるさいんだから。

カナ うわ、怖い。何かあったの？

朱美 職場でも今日言われたって話。てかさあ、職場の先輩がチケット無くしたとか言つて。鎌足の。

カナ 職場で？

朱美 何で公共の場に、そんな高価なもの持ってくるかって話じゃん。結局手伝わされてさあ。嫌いじゃないんだけど、時々うざいんだよ。テンションとか。マジで。

カナ あーね。

朱美 更にも上の先輩には、セクハラオヤジの部署に行けとか言われるし。ちょっと前まで悪口言ってたんだよ？ 嫌なのわかってるじゃん。嫌いじゃないんだけど、時々パワハラがひどい。マジで。

カナ あらー。やだなあ、そういうの聞くとマジ就活やめたくなる。ていうか仕事したくない。

朱美 お金無しでどうやって生きていけるか考えてから言ったら？ あと仕事と言えば、今日。

カナ さすがつす姉さん。

朱美 あんまり会議してないから、不安なんだけど。ミズキちゃん。

カナ、パソコンを開く。特捜班みたいな感じで。

朱美 ホシは？

カナ 割と近所。

朱美 やったー。さすがに平日は疲れるんだよね。

カナ あーでも、車で行った方がいいかも。今日覆面の日だ。

朱美 ええ？

カナ クライアントの希望で。

朱美 はあー……もうやめない？ このシステム。

カナ いやいや、これが良いんですって。

朱美 いい加減、二重生活もつかれるなあ。ミズキちゃん。

カナ 時に朱美さんよ。ひとつ気になることがあるんだけど。

朱美 なに？ その喋り方。

カナ 私思うんだけどさ。

朱美 うん。

カナ 下着が可愛いのも、女の為だと思う？ 男の為だと思う？

朱美 何？ 何急に。どういうこと？

カナ だから、ブラとかパンツとか、機能性だけ考えれば、可愛くする必要はないじゃん。基本みせないし。じゃ、何で可愛くするかっていったら、これもう、その時のためじゃん。

朱美 あー……まあ。あ、単純に可愛いものつけてるとテンションあがるって人もいるじゃない？

カナ テンションー？

朱美 え、分かんない？

カナ そんなの建前でしょ？

朱美 そんなことないでしょ。自分のために選んでるって。

カナ 違うでしょ。その時、相手に見られる自分のために選んでるんでしょ。

朱美 たかが下着に、誰もそこまで考えてないって。

カナ そう？ あーそうホントに？ じゃあ聞きますけど、朱美さんは何を基準に選んでるの？ 何を思っただけで下着売り場に立ってるの？

朱美 それは、……そりゃ機能性と着心地でしょ。

カナ あ、今間があった。ほら。

朱美 違うって。ちょっと思い出してただけ。

カナ 何を思い出してたんだよう。何を思っただけのよう。

朱美 しつこい！ 何なの？ アンタさつきから情緒不安定すぎない？ ミズキちゃん！

ん！ ミズキちゃん！？

カナ 認めちまえよ！ 合コンのために可愛い下着選んでるってよ！

朱美 はあー？ 何でもいいでしょ！ てか彼氏とか今興味ないって言ってんじゃない！

カナ 純情ぶってんじゃないやねえよ！

ミズキ、やってくる。汗だく。

朱美 ミズキちゃん、こいつどうにかしてよ。あと何で汗だく？

ミズキ え？

カナ ミズキちゃんも、下着買うでしょ？

ミズキ え？ うん。そりゃ。

カナ 何考えて買う？

ミズキ 何って？

カナ その時のこととか、付随して男のこととか。

朱美 そんなの、リア充限定でしょ。

カナ わかんないよ。「今度、飲み会あるなー。良いなと思ってるあの人も来るなー。もしかしたら、万が一のことがあったら、酒の勢いでそのまま発展するかもしれないなあー。」……って。ねえ？

朱美 歪み過ぎ。

カナ (ミズキに) ねえ？

ミズキ ……男の人をを考えて買うことはないかな。

カナ えー？

朱美 ほらあ。うちの純情っ子をそっち側に巻き込まないでよね。

カナ あーまあ、ミズキちゃんはそうかあ。ホント聞かないもんね。惚れた腫れた話。

朱美 そ。そういう、浮かれた話は彼氏持ち同士でもらっていいですかあ？ こっち

は興味ないんで。ところでミズキちゃん、なんでそんな筋トレしてんの？

カナ ひがみやがって。

朱美 何か？

カナ 言っておきますけどね、恋愛してたら幸せってわけじゃないんですから。

朱美 ああ、すいませんねえ。贅沢な悩みを持ってらっしゃるようなので、羨ましくって。

カナ って言い方がもう、自分が貧乏って自覚してる証拠だよな。

ミズキ あの……。

朱美 何？

カナ 何？

ミズキ 私……あの……。 (話題を変えて) ……カナ、彼氏と何かあった？

カナ ……。

朱美 え？ 就活がダメでおかしくなってるんじゃないの？

カナ それもあるけど。

朱美 あるけど何？

カナ ……うう……。

朱美 何？ 何があったの。アンタちよつと、ホントに不安定だよ色々。

カナ 浮気……。

朱美 は？

カナ 浮気されて、そのまま……

朱美 そのまま？

ミズキ 別れたの？

カナ 別れてない！ 別れたくないし……。

朱美 何で。仲良くやってたんじゃないの？

カナ 最近私、就活忙しかったでしょ？

ミズキ うん。

カナ で、夜はこっちの仕事あるでしょ？

朱美 うん。

カナ しばらく会わない間に……後輩の女の子と……。

朱美 あー……。

ミズキ あー……。

朱美 まあ、でも彼氏だって、カナに会えないからってひとりきりつても酷だし、いい

んじゃないの、2人で出かけるくらい。

カナ 2人でラブホに出かけるくらい？

朱美 ラブ……ホ……。

ミズキ 彼から聞いたの？ 行ったって。

カナ 友だちが、入っていくの見たって……。

朱美 あー……。

ミズキ あー……。

カナ 私には、シようなんで滅多に言っ来ないのに……

ミズキ 言っ来ないんだ。

カナ うん……でもスると巧い。

朱美 生々しいのやめて……。

カナ どうせ若い子がかわいい下着だったんでしょ。どうせ。

ミズキ 私たちも若い方だよ。

朱美 それでブラブラ言ったのか。

カナ 私もう、就活したくない……。

ミズキ カナ……。

カナ でもしなきゃ前に進めない……。

朱美 まあ……こっちの仕事で食べていく気にはなれないしね。あんまり人に言えること

でもないし。

ミズキ ……うん。

朱美 ミズキちゃんは何？ 就活どうなの。あとなんでそんな筋トレしてんの？

ミズキ えっと……ぼちぼち。

朱美 まだなのか。

カナ まだなんだな。

朱美 まあ……、大丈夫だって。会社勤め大変だよ、マジで。人間関係面倒くさいし、話も合わせなきゃいけないし。別に苦痛じゃないけど、気を遣いながら話すのはね、普通にダルイ。

カナ やめてよ、わざわざ罰ゲーム受けに頑張ってるみたいじゃん。

朱美 だから、起業とか、色々あるんじゃないの？ 大学生なんだからさ、そういう選択肢だって。

カナ 出たよ、大学差別。そんなのはねえ、一部の意識高い優等生がやってることなんだから。我々一般大学生とは無縁の話なんだっつ。実際高卒の朱美となら変わらなないし。ねえ、ミズキちゃん。

ミズキ あの……うん。

朱美 どうせ頑張って就職したって、2年くらいでやめるんじゃないの。

カナ それなー……。まあでも、就職しないといけないのは確かだし、なんか対策講座とかあるしさ。出とかなきゃヤバイ、みたいな空気あるんだよね。面接もさア、企業側は自由服OKって言うてるのに、スカートスーツの方が好印象とかさ。いやどっちだよ！ ってね。

ミズキ 女性らしさがあった方がいいっていう、傾向によるもの……。

カナ 女性らしさあ？ じゃあ面接のときにブラ確認するのとかよ。見えないところまで女性らしいか見極めてんのかよお。

朱美 やめなさい。マジで犯罪だから。

ミズキ そういう問題じゃないと思う。

カナ くそう……どいつもこいつも、私の何が不満だって言うんだよう……。

ミズキ カナ……。

朱美 もういい？ カナの愚痴は金曜日に聞くからさ。はい、ミズキちゃん道具準備。カナは工程表出しといてね。1時間後出発でいい？

ミズキ 分かった。

カナ うう……。

朱美 仕事とプライベート分けるよ。

カナ はい……。

ミズキ 朱美は？

朱美 とりあえず顔洗って、準備体操する。身体バキバキだよ、もう。

ミズキ あのさ、出来ると思うよ。

朱美 何？

ミズキ 恋人。今は、ちよっと、気を張り過ぎなんだと思う。

朱美 どうしたの？ ミズキちゃんまで、急に。

ミズキ 別に男の人に限らずだけど、人つて隙間があったほうが接しやすいつていうか……。その、あからさまに「寂しい」って言わずに、黙ってるんだけど、スキを見せるつていうか。

朱美 別に、接してほしい訳じゃないんだけど。

ミズキ でも、なんか職場でも大変そうだったからさ。

朱美 ああ、あれ？ いやまあ、大変だけどさ。そんな深刻じゃないし、結局話をまとめるの私なんだよね。「いや先輩たちがどうにかしろやこの空気」つて思うんだけど、逆に楽つていうか。

ミズキ そっか。

朱美 ぶっちゃけやすい空気作ったら、だいたいみんな話すようになるし。まあ、私たちがみたいに、なんでも腹割って話せるわけじゃないけど。だから大丈夫だよ。

ミズキ うーん。

朱美 あと私、マジで今彼氏とかいららないから。出来ても相手が可哀想だし。忙しいから。

ミズキ ちゃんも、そうでしょ？

ミズキ まあ……、彼氏はいらないかなあ。

朱美 ね。ああ、カナと話してる時のこと？ 違う違う、別に意地張ったわけじゃないよ。

ミズキ うーん。

朱美 じゃ、道具よろしくねー。

朱美、はける。ミズキは少しの間悩むが、諦めて準備に戻る。

【6 帰路にて】

リサと友世があるいている。

リサ いい風。涼しいね。

友世 まだ寒くない？

リサ そう？

友世 自分ちの方が近いのに、なんでわざわざ。

リサ たまには散歩もいいじゃないの。

友世 何で急に、実家に来てほしいなんて言ったの？ お父さんもお母さんも元氣なんですよ？ かのピッピとも仲良くやってるみたいだし。何が不安だって言うのよ。

リサ いいじゃないの、理由なんてなくて。お姉ちゃんだって、妹と過ごしたい日があるのよ。

友世 私はないんだけど。

リサ 友ちゃん、冷たい。

友世 いちいち大げさなんだから。

リサ あら。

リサ、道端に転がったくまさんを見つける。

リサ 大きな落し物。

友世 なんてこんなところに。

リサ くまさん、くまさん、どうしたの？

友世 やめてよ、恥ずかしい……。

リサ くまさん、妹が冷たいよう。

友世 ちよっと！ 変なことふきこまないでよ。

リサ どうして？

友世 ……返事したら怖いでしょ。

リサ ええ？ ふふ、くまさんが返事したら怖いのか？

友世 うるさいな。

リサ (くまさん越しに) ねえ友ちゃん、本当なの？

友世 何が。

リサ 結婚の話。

友世 いいでしょ、なんでも。

リサ もちろん、いいよ？ 反対なんてしない。友ちゃんの決めたことだもんね。

友世 じゃあもう黙っててよ。まだお父さんたちにもちゃんと言っていないから、言わないでね、絶対。

リサ いいけど、でも、全然会ったことないでしょ？ 私もだけど、親にもおばあちゃんにも。

友世 ……だから、その時になったら自分でちゃんと言うってば。

リサ ふふ、お父さんびつくりするだろうな。私がかのピッピを連れて行った時も、びつくりしてた。

友世 それは別のびつくりでしょ。

リサ それもあるけど。でも、すぐ仲良くなったよ。

友世 そんなに素敵な人なの？ かのピッピ。

リサ 友ちゃん、まだ会ったことないんだっけ？

友世 ないよ。その頃全然帰ってなかったし。  
リサ 聞きたい？ 聞きたい？ かのピソビの話。  
友世 いや、いい。さっきもう充分聞いた。  
リサ えー、聞きたいって言ってよ。  
友世 うっとうしいな、もう。  
リサ ……でもよかった。友ちゃんが結婚なんて。  
友世 え？  
リサ 嬉しいじゃない、妹の幸せって。  
友世 自分が余裕だから、そんなこと言えるんだよ。  
リサ 友ちゃんは、余裕ないの？  
友世 ないよ。  
リサ どうして？ いいじゃない、幸せなんでしょう？  
友世 ……お姉ちゃん。  
リサ (急にあたりを気にして) え？  
友世 こんなタイミングで言うのもあれなんだけど。  
リサ うん？  
友世 あのさ  
リサ 今、何か言った？  
友世 は？ うん。  
リサ 話し声が聞こえた気がする。  
友世 話してるからね。私が。  
リサ おぼけ！？  
友世 だから！

---

リサ まさか、不審者！？ 不審者なのね！？  
友世 はあ！？ ちよつと、おい！ 私の話  
リサ、くまさんを放り投げて走り出す。  
友世 私の話を聞けよ！  
残される友世とくまさん。  
友世、言いかけた言葉の吐きどころを探し、くまさんを拾い上げる。  
友世 (くまさんに向かって) 今付き合ってる人、妻子持ちなの。  
謎の声 え？  
友世 え！？ (あたりを見回し、恐る恐るくまさんに) 浮気なの。完全に。  
謎の声 ……。  
友世 ……気のせいかな。  
謎の声 ……職場の人？  
友世 うわっ。  
謎の声 ……。  
友世 ……くまさん？  
謎の声 ……えつと…はい。  
友世 ええ…？  
謎の声 あの…別に呪ったりとか、害とかないので、大丈夫です。  
友世 ええ…？

謎の声 あのと、あれです、懺悔室みたいなものなので、あんまり気にしないで。

友世 懺悔のくまさん？

謎の声 うん、うん。も、好きだけ話しかけて大丈夫だから。話、聞いてあげるよー。

くまさんに全部吐き出しちゃっていいよー。

友世 好きだけ……。

謎の声 そ、そ。も、溜ってるもの出しちゃっていいから。大変だね。色々抱え込んでるんだね。

んだね。

友世 ……うん。

謎の声 うわ……浮気だっけ？ 職場の人、とか？

友世 ……別の部署の、金田っておっさん。

謎の声 おっさん。

友世 何でこんなやつと、ってぐらいおっさん。

謎の声 おっさん。

友世 うん。

謎の声 えっと……何で？

友世 わかんないよ。分かんないけど、気がついたら関係ができて、気がついたら好き

になっちゃった。

謎の声 会社では隠してるの？

友世 隠してる……っていうか、別の人と……坂崎さんって人と、噂になってる。

謎の声 ええ？ 何で。

友世 私が、流したから……。金田のおっさんと坂崎さんがデキてるって噂。

謎の声 ええ？

友世 しょうがなかったの。1回ホントにばれそうになって、私、そういう感じに見えないから、気づかれずに済んだけど、次もしそんなことになったら、もう会社にはいられないし……。

……。

謎の声 いやでも……関係ない人を巻き込むような真似して……。

友世 悪いとは思ってる。

謎の声 そう言う問題かなあ……。

友世 金田さんも、いずれ今の奥さんとは別れるって言うてくれてるし。いずれ本当になることだもん。

……。

謎の声 え……本当に？

友世 ……信じるしかない。

謎の声 それって、信じてないってこと？

友世 ……だって、しょうがないじゃない。こんな歳までズルズル続けて、もう今更だし。

私、30までには結婚しなきゃって思ってたのに、今から新しい誰かを探すなんて、

出来ないの。

謎の声 そんな、まだ30で遅いなんてことは、ないのでは？ そんなに無理しなくても

……。

友世 無理もしたくなるよ、お姉ちゃん見ると。

謎の声 お姉ちゃん？ 走ってどっか行った人？

友世 ……お姉ちゃん、女の人と付き合ってるの。

謎の声 わお……。

友世 別に、私はお姉ちゃんが女の人好きでも、かのピッピとラブラブでも文句ない。

謎の声 かのピッピ。

友世 お父さんとお母さんも受け入れてるし、寧ろ仲良くやってるみたいだし、いいよ。いいと思うよ。でも、じゃあ私がしっかりしなきゃとか、思うじゃん。皆気にしてないのかもしれないけど、でも、子どもとか、孫とか、種の存続とか、世間体とか、考えるじゃないの。考えるでしょ。考えるのよ、私は。だから、ちゃんと働いて、ちゃんと結婚して、ちゃんと子ども産んで、そっちの心配事はこつちで片づけようと思っただのに、なのに、なのに、こんなことになっちゃって……。

謎の声 ……。

友世 ……何か言っつてよ。

謎の声 え……苦労してるね。

友世 そういうことじゃなくて！

謎の声 ええ？ ええ？

友世 ……分かってる。私が勝手に心配してるだけなんだってことは。

謎の声 ああ……うん。

友世 結局、妻子持ちとズルズルここまで来てるんだから、意味ないしね……。

謎の声 ああ……えつと……元気だしなよ。あの一、ほら、1回、お姉ちゃんにも話して

みたら？

友世 お姉ちゃんに？ 話にならないよ、たぶん。

謎の声 いやいや、分からんよう。きつと言えないこともあるんだよ。ねえ。

友世 そんなわけ……。

謎の声 どんなに親しくても、親しいからこそ、言えないこともあるものだから。

友世 ……。

謎の声 それとね、相手のことはもう一度考え直したほうがいいね。本当にその人でもいいのか。ていうか、本当に向こうが離婚する気なのか。

友世 やめてよ。

謎の声 浮気は良くない。よくないよ……呪われるよ……。

友世 やめてよ！ 呪わないって言ったのに！

謎の声 あなたにとつての、本当の幸せは、そんなことじゃあない。

友世 ……。

謎の声 だらう？

友世 ……。

謎の声 思い当たる節があるなら、もうお行き。どうすればいいか、分かっているはずだよ。

友世 だんだんキャラが変わってきてない？

謎の声 いいからはよ行け。ちよつとはスツキリしただらう？

友世 まあ……うん。どうも、聞いてくれてありがとうございます。

謎の声 うん、うん、頑張りな。

友世 絶対途中でキャラ変えたよな……。

友世、訝しみながらも去っていく。

物陰から、カナが現れる。ビッグ・アイの格好。手にはリボン型変声機。

カナ ふう……落とし物拾うだけで、こんなことになるとは。リボン型変声機持ってて良かった。

くまさんを拾う。友世が去っていった方を見て、

カナ なんか大変そうなんだ……でも浮気するやつは呪う。(呪いのポーズ)

朱美 (声だけ) カナー。まだー？

カナ はいはいー今いくよー。(お腹をさすつて) う、食べ過ぎた……。

カナ、去っていく。

入れ違いに、たえ、キヨコ、フサコが通り過ぎる。

キヨ 美味しそうねえ。

フサ 楽しみ。

たえ 今更ですけど、お二人ともお金持ってるんですか？

キヨ え？

たえ 絶対最初から奢らせる気だったでしょ！

3人、ハケていく。

入れ違いに、リサがやってくる。

リサ あれ？ 友ちゃん？ 友ちゃん！

リサ、去っていく。

春の夜がふけていく。

【7 実家にて】

ところ変わり、リサの家。

朱美、カナ、ミズキが窓から入ってくる。

ミズキ、軽やかに入り、その後2人がモタモタと入ってくる。

朱美 何で空いてないんだよ、もう……。マジめんどくさい。

カナ おっかしいな。子どもがいるって聞いてただけど。

朱美 子ども？どこにいるってのよ、どこに。ホント気をつけないと、通報される。ちよ、カナ、早く入ってきてよ。

カナ ちよい、ちよい待ち。お腹苦しい……。

朱美 だから、任務の前にケーキも晩御飯も食べるのやめろって言ったじゃん。バカじゃねえの？

カナ やけ食い注意だなマジで。

ミズキ しー……

朱美・カナ しー……

ミズキ どこからだっけ。

カナ えっと、子ども部屋からなんだけど……

朱美 子ども部屋？どこ。

カナ 2階の西側。

ミズキ 西側？

カナ つまり、ここ。

ミズキ ここ？

朱美 どう見ても、大人部屋なんだけど。

カナ 大人びた子どもなのか。

ミズキ 他の部屋も見てみる？

3人、部屋から出ていく。

友世 (声だけ) ただいま……。

友世、部屋に入ってくる。

友世 ちよっと、窓開いてるし。もう……

座って一息つく。

友世 ……別れ時、か……。 (ケータイを操作しながら) 幸せとは…… (歌い始め) しあわ

せーとーはー星がふる夜とーまふしい朝ーをー……

リサ (声だけ) ともちゃん？

友世 (はっとして) はいはい。血は抗えないか……やだやだ。お姉ちゃん、窓開いてたよ？  
もう……。

友世、出ていく。

少しして 3人が入ってくる。

朱美 ちよつと、カナ！

カナ ごめんって。

ミズキ しー……！

朱美・カナ しー……。

朱美 何で間違えてんのよ！

カナ 反省はしてる。

朱美 しかもさっきの……

ミズキ さっきの……

カナ さっきの……

朱美 だから仕事とプライベートは分けてって言ったじゃん。就活中も続けるって決めたのは2人でしょ？

カナ 違うんだって。就活ダメだったのと今日のミスは、関係ないんだって。

朱美 違う違ううるせえな。そんなだから浮気もされるんじゃないの？

カナ 何でその話と結び付けてくんのよ。

朱美 だってそうじゃない。

ミズキ 2人とも、しー！しー……

カナ 彼氏がいらないからって、ここぞとばかりに責めてきやがって。

朱美 はあー？

カナ はあー？

朱美 まともにやるべきことやってから、偉そうにしやがってたのよ。

カナ 偉そうなのは朱美じゃん。

友世 (声だけ) だって入ったら開いてたよ？

リサ (声だけ) えー？ そんなはずないんだけどなあ。

朱美 ヤバみ。

カナ ヤバみ。

ミズキ ヤバみ。

カナ とりあえず出よう！

3人、ワタワタと窓から出ていこうとする。

カナが一番に降り始めるが、遅い。

朱美 ちよつと、早く！

カナ ごめんって。あ、ヤバ、ボタン、ボタン引っ掛かった。

朱美 ホント今日ダメダメだな。

友世 (声だけ) いいから来てよ。

リサ (声だけ) 待って待って。お味噌汁止めてくる。

ミズキ あっ……

友世入ってくる。3人を見る。

一時沈黙。

友世 ドロボー！！

朱美 やばっ！

カナ ヤバイヤバイ！

朱美 ミズキちゃん、早く！ てかあんた早く降りて！

カナ うおお……！

リサ 何事！？ ドロボーって何？

朱美 ああ、やばい逃げなきや。ミズキちゃん！

リサ ミズキ？

リサがやってくる。

友世 コツチ！ お姉ちゃん！ 泥棒！

カナ ミズキちゃんごめん！

ミズキ、無言で覆面をとる。

リサ えっ……ミズキ？

ミズキ リサ。

朱美 え？

カナ 知り合い？

ミズキ うん。恋人。

カナ ええ！？

友世 この人が？

朱美 どういうこと？

リサ みつちゃん……どうして、こんなところに……。みつちゃんがドロボーって……。

友世 だって、勝手に部屋の中いたんだよ！ しかも窓から出ようとするし、こんな格好

だし、泥棒以外の何に見えるっていうの。

カナ まあ、妖精さんには見えないよね。

朱美 (頷く)

リサ 泥棒なの？ ミズキ。

ミズキ 隠してごめん。表向きは大学生、裏の顔は、夜の世界に走る掃除屋……ピッ

グ・アイ。それが私。

友世 ビッグ・アイ？

カナ 違う！ ピッグ！ び！

友世 び……。

朱美 だから言ったじゃん。絶対聞き間違えられるって。

カナ 英語で書いたらわかるもん。

朱美 英語で書くことなんてないじゃん！ 名刺からカタカナなんだから。

カナ いいじゃん、かわいいよ、ピッグ。

朱美 せめてピグレットぐらいにした方が良かったんじゃない？

カナ それはそれで別のものが連想されちゃうから。

友世 それはそうと、言っ方がいい？

カナ え？

友世 その声、朱美ちゃん？

朱美 はっ！

カナ え？ 知り合い？

朱美 うう…… (覆面を取る)

友世 うそ！ ホントに？

朱美 違うんです、これには色々事情があつて……。

カナ 誰？

朱美 会社の先輩。

カナ わお……。カオスになってきたな。

友世 ちよ、ちよつとまつて。状況を整理させて。つまり？ 朱美ちゃんは泥棒で、

カナ 掃除屋です。

友世 どっちでもいいわ。ていうか、あなた誰？

カナ あ、どうも。(覆面を取つて)ミズキちゃんと朱美の友人です。

朱美 違うんです、友世さん、ホントに泥棒じゃないんです。掃除屋なんです。

友世 掃除屋つて……殺人まがいのこと！？

朱美 違うんです！

カナ 普通に清掃業なんです。

友世 え？

朱美 今日はこちらと手違いつていうか、家を間違えちゃつて。すいません。普通に帰ろうと思つてたんですけど。

友世 し……信じられないわよ！ そんな格好で、ビッグ・アイなんて名前で、清掃業者

だなんて。しかも、窓から入ってくるし。

カナ ビッグです。

朱美 いや、だから、事情があるんですつて。

カナ オブション的なアレなんです。

友世 アレ？

カナ 演出というか。(2人に)やろうよ。

朱美 ええ……やるの？

カナ それが早いつて。ミズキちゃん。

ミズキ (頷く)

朱美 ……ええ……？

カナ ほら、朱美から始めないと出来ないから。

朱美 うう……。 (意を決して) この世に汚れのあるところ！

カナ 古今東西どこまでも！

ミズキ 消して見せようその穢れ！

朱美 夜を駆けるは3人組！

カナ 掃除屋！

ミズキ ビッグ・アイ！

決めポーズ。暫し沈黙。ややあつて、リサが拍手する。

朱美 顔出しでやるとこんなに恥ずかしいとは……。

カナ つていうオブション付きのハウスクリーニングです。普段はお仕事漬けて帰つて来られない方のためにやつてるんで、基本家主さんには直接会わないんですけど。

ミズキ 留守番中の子どもとか、玄関から優しく入ってくるよりこっちの方が喜ばれたりするんです。

カナ ちなみに今日は覆面ですけど、クリスマス時期とかサンタになつたりします。

友世 ……そ、そうだったのね……朱美ちゃん……。

朱美 なんかもういっそ、泥棒扱いしてくれてた方が良かった。

リサ ミズキ……。

ミズキ リサ。

朱美 そうだった。

カナ こっちはこっちで衝撃だった。

友世 お姉ちゃんのかのピソビって、彼女なの？

リサ うん。

朱美 ミズキちゃん、女の子が好きだったんだ。

ミズキ うん。

カナ なんて言ってくれなかったの。何にも気がつかずにブラの話とかしちゃったよ。

ミズキ ごめん。何となく、言いたしづらくて。

朱美 彼女がいるってこと？

ミズキ ううん。恋愛してるってこと。

カナ ミズキちゃん。

ミズキ カナは上手く行っていないみたいだったし、朱美はそもそもリア充嫌いだし。私、

恋愛とか関係ない感じのキャラだったから……言ったら、この関係崩れちゃうの

かなと思ってる。

朱美 ごめん、気を遣わせて。でも言ってくれて良かったのに。

カナ そうだよ！ 私たちそんなこと気にしないし。ね。

朱美 いやそりゃ妬むけど。

カナ あーけーみー。

ミズキ リサも、ごめん。夜の仕事のこと、隠してて。

リサ どうして……どうして言ってくれなかったの。そんな大事なこと。

ミズキ ごめん。

リサ 何が？ 何が悪いと思ってるの？ 私を好きだって言ってくれたこと？

ミズキ そんな、違うよ。

リサ 私のこと、利用しようとして付き合っていたの！？ ミズキちゃん！

ミズキ そんなわけない！

リサ 私に見合うパートナーになるうって、筋トレしていたことも全部ウソだったのね！

ミズキ 嘘じゃない！

カナ そうだ！ これは本当だ！

朱美 私たちがどれだけ見てきたと思ってるんだ！

カナ いい加減頭が筋肉になったかと思うくらいだったんだぞ。

友世 本当だって、お姉ちゃん。

リサ 本当に？ じゃあ、就職が決まって入社前の勉強が忙しいからって、最近会えなかつたのは？

ミズキ えっ……。

カナ それは嘘だな。

朱美 それで最近やたら雑学を覚えてたのか。

カナ 入社前にどんな勉強するもんなのか分からなかったのね。

知美 嘘だって、お姉ちゃん。

リサ ひどい！

ミズキ で……でも！ 好きだっことは本当だから！ だから……二人に言おうと思

ってたことがあって。

カナ 何を？

ミズキ 私……大学卒業したら、この仕事から足を洗おうと思うの。

カナ ええ、そんなあ。

朱美 3人でやっついていこうって決めたじゃない。

カナ そうよ。お父さんのコレクション集めきるまでは、どんなに辛いことがあっても乗り越えていこうって決めたじゃない。私も、刑事の彼との板挟みだけど、いつか必ず3人で成し遂げるまでは隠し通すって思ってるのに。

朱美 そうなの？

カナ 今考えた。

朱美 はあー？

ミズキ ごめん。

不意に流れ出す音楽。ミズキ、マイクを取る。

ミズキ (歌う)でも決めたの。私、リサと生きていたって思った。そして、リサのかのピッピとして、

リサ ミズキ……

ミズキ・リサ 2人、支え合っていくって。

ミズキ ……かのピッピのぴは、ラブアンドピースのぴ。

リサ ……かのピッピのもうひとつのぴは、Peopleのぴ。

ミズキ ちいさいつは、

2人、一歩ずつ歩み寄る。

ミズキ・リサ ……のつ。

ミズキ だって

リサ 人は

ミズキ 愛なしでは

リサ 孤独では

ミズキ・リサ 生きてはいけないからあー(はもる)

友世 あっそお……。

カナ (拍手)感動……？

友世 ばか！ 惑わされるな！ ただのバカだ！

カナ そ、そうか。危なかった。

朱美 でもどうするの？ 就職、まだ決まっていなくてしょ？

ミズキ それなんだけど、私、起業しようと思って。だから、もう1年、学生やる。

カナ 起業！？

朱美 そうなの？

カナ あの、一部の意識高い優等生がやる、あの起業を？

ミズキ うん……あ、私はアレだけど、優等生ではないけど。

カナ やっべえ、めっちゃデイスってたわ、さっき。

朱美 ミズキちゃん、そんなこと考えてたんだ……知らなかった。

ミズキ ごめん、言えなくて。カナも朱美も、大変そうだったし。周りから何て言われるか、あんまり自信持てなくて。

カナ こっちこそごめん、気を遣わせて。でも言ってくれて良かったのに。

朱美 そうだよ！ 私たちそんなこと気にしないし。応援するよ。ね。

カナ いやそりや妬むけど。

朱美 かーなー

ミズキ ……リサにも、言ってなかったよね。

リサ ミズキ。

ミズキ 報告が遅くなつてごめん。就活じゃなくて、起業の準備をして、それで、最近会えてなくて。

リサ そんなこと……いいの。

ミズキ たぶん、この先も迷惑かけると思う。

リサ いいのよ、ミズキ。そんなこと言わないで。私がそうしたいから、一緒にいるんだから。

ミズキ リサ……。

リサ ミズキ……。

リサとミズキ、去っていく。

友世 またか……。

カナ ラブラブだあ……。

朱美 結局一番しつかりしてるのは、ミズキちゃんか。

カナ 少なくとも、私ではないな。

友世 本当の幸せ、ね……。

朱美 あ、ところで友世さん。本当に本当に反省しておりますので、今回の件は、その……。

友世 秘密にしろって？

朱美 はい……すみません。

友世 もう……今回は私たちだったからよかったけど、ホントに気を付けないと犯罪だからね。

朱美 はい！ それはもう本当に。

友世 ねえ、朱美ちゃん。

朱美 はい。

友世 女の幸せって何だと思う？

朱美 はい？

友世 幸せ。

朱美 (カナに) 幸せ？

カナ 幸せ。

朱美 さあ……おててのシワとシワを合わせて……幸せ？

カナ なーむー？

友世 なるほどねえ……深い。

カナ え？ 今のが？ こわ……。

友世 今回は見逃してあげる。

朱美 ホントですか？

友世 今回だけだからね。ていうかそのオプションやめたら？

友世のケータイが鳴る

友世 はい、もしもし。……あ、私です。……え？ おばあちゃんが？

【8 再び、自宅にて】

ところ変わって、たえの家。

たえは寝間着姿。フサコとキヨコは羊羹を食べている。

たえ あの一……私そろそろ寝たいんですが。

キヨ おやすみ。

フサ 早いねえ。

たえ いや、じゃなくて。

フサ 気にしないで。私たちも、いい時に出て行くから。

たえ 今すぐは無理なんですか。

キヨ お年寄りをいたわりなさいな。

たえ あなた24で亡くなったっていつてたじゃないですか。

キヨ そうは言っても人生の先輩だもの。

たえ そりやそうかもしれないですけども。

フサ もう1人来るのよ。

たえ もう1人来るんですか！

キヨ その子を迎えに来たのよー。

フサ せっかくだから、久しぶりに会おうってことになってね。

たえ 自由だな。

ヨシコがやってくる。

ヨシ おまたせ。

フサ やつと来たわね。

キヨ もういいの？ 忘れ物ない？

ヨシ うん。大丈夫。

たえ どちらさま……。

ヨシ あらあら、お嬢さん、この家の方？

フサ そうなのよ。今日ちょっとお借りしててね。見えるのよ、私たちのこと。

ヨシ あらー。ごめんなさいね、急に押しかけちゃって。

たえ はあ、まあ、もう慣れました……。

キヨ 会ったこともない人に告白されたんだって。

たえ ちよつと！

ヨシ あらそうなの。

フサ そんなこといったら、私だってあったこともない人と結婚したわ。

たえ いや、結婚はまた別の話でしょ？

キヨ 堂々巡りだね。

フサ ま、いいじゃないの。恋愛も結婚も、しただけしたらいいのよ。

ヨシ 深いわねえ。

たえ そうですか？

キヨ そろそろ行きましょう。

フサ そうね。行きましょうか。

ヨシ あ、待って待って。鏡、鏡ない？

たえ あ、そこに。

ヨシ ありがとう。ちよつと借りるわね。

ヨシコ、鏡の前に立つが、映らない。

たえ (鏡を覗いて) うわ、映ってないし……。

フサ そりゃあねえ。ないものは映らないし。

ヨシ ねえ、私、大丈夫？ 変じゃない？

フサ 大丈夫よ。変じゃない。

キヨ 普通だよ。

フサ 普通にかわいい、って意味ね。

ヨシ ホント？ 髪乱れてない？

フサ 大丈夫。

ヨシ ちよつと若すぎたかな、服。

フサ 大丈夫。似合ってる。

キヨ 久しぶりだもんね、旦那さんに会うの。楽しみだね。

ヨシ 楽しみっていうか……私もう、おばあちゃんなのに。

フサ 関係ないわよ、そんなの。いくつだって。

ヨシ 向こうで新しい奥さんとか、できちゃってないかしら。

キヨ 大丈夫、そんなモテモテじゃないから。

フサ (キヨの頭を叩き) 待っててくれるわ、蓮の花の上で。

たえ 蓮の花？

フサ そう。蓮の花に、少しだけ座っているのよ。大切な人が、隣に座れるように。

たえ へえ。ロマンチックですね。

キヨ 結局断ったの？ セイジさん。

ヨシ そのつもりだったんだけど、会えなかったの。だから、お手紙と一緒に返そうと思  
つて。

キヨ (たえに) よっちちゃんはね、モテモテだったんだよ。病院で。

ヨシ ちよつと、キヨちゃん！ 違うのよ、一人だけ。

たえ え、最近の話なんですか？ おばあさん、いくつ？

ヨシ 85。

たえ 85！？

フサ いくつになっても、恋はするものなのね。

たえ はあ……。

フサ でもまあ、最後にはやっぱり旦那さんのねえ。

キヨ 大好きだね。

ヨシ 色々あったけどね。

たえ 色々あったんですか。

ヨシ ずっと一緒にいたんだから、そりゃあね。でも、夫婦ってそういうものだから。

たえ 旦那さんと結婚して、良かったって思いますか？

ヨシ ええ？ ふふ、どうだろう。本当はもつといい人がいたのかも。

たえ え、そんな感じ？

ヨシ だって、分らないもの。でもね、よかったって思うのも悪かったって思うのも、  
自分だから。今、幸せな自分のことは、誇りに思いたいわ。

たえ ……なんか、ありがとうございます。今日初めて、凄く響く台詞頂いた気がします。

フサ あら、失礼しちゃうわね。

キヨ ほんとね。アタシなんて昇天までしたのに。

たえ いやお2人は極端、ていうかキヨさんは全然関係なく昇天してたじゃないですか！

フサ さて、行きましょうか。

キヨ じゃあ、それ届けに寄り道しないだね。

ヨシ そうそう、そうなの。ごめんね。

フサ いいのいいの、ちよっとくらい。久しぶりの女子旅じゃない。

キヨ ついでに喫茶店寄っていかない？

フサ いいね。あのさ、20代の時に行ってたこと、まだやってるんじゃない？

ヨシ ああ、喫茶カスタード？ まだあるある！

キヨ 懐かしいねー。

たえ、3人を見送る。

その後ろ姿は、自分よりももっと若くみえた。

今思うときらきら輝いていた、10代のころの姿に見えた。

たえ ……逝っちゃった。

たえ、スマホを持ち、少し考えた後、メッセージを打ち始める。

たえ 私のことを、そんなふうに言ってくれてありがとう。とてもうれしいです。でも、

ヨシ (手紙を持ち) かたがるべき事にもあらぬを、さもあらむ後には、えはめたてまつ

らざらむが、くちをしきなり。

たえ 今よりも近い関係になれば、嫌なところが見えてきたり、素直に受け取れなくなる  
こともあるでしょう。

ヨシ 今のまま、互いにただ好意を持ったままの、

たえ この関係を受けさせてください。

パパ3人は、途中、たえたちの職場に寄る。

ヨシコ、チケットを返そうとするが、ふと、記載されている名前にフサが気がつく。3人、1枚を部長の机に、もう1枚をたえの机に置く。

楽しいに去って逝く。

暗転。

【9 エピローグ】

明転。次の日。

たえ おはようございます。

朱美 おはようございます。

たえ あれ、友世さんが遅いの、珍しいね。

朱美 あー。今日、お休みみたいです。

たえ 休み？

朱美 ご親戚の不幸があったみたいで。

たえ あら、そうなんだ。

朱美 見つけました？ チケット。

たえ いや、全然。どうしよう……

言いながら席に着くと、チケットが引き出しに入っている。

たえ うそ！

朱美 なんですか！？ 急に。

たえ ある……。

朱美 なにが？

たえ チケット。

朱美 ええ？

たえ 戻ってきてる……

朱美 昨日見てなかったんじゃないんですか？

たえ 見たよ！ 一番に見たもん。

朱美 ええー……。

たえ あ。

朱美 なんですか？

たえ おばあちゃんかな。

朱美 おばあちゃん？

たえ ううん、何でもない。

朱美 はあ……。

朱美、トイレに行く。

たえ おばあちゃんたち……ありがとう。なんだかうるさい夜だったけど……。

たえ、上着を掛けに行く。部長のデスクにも、チケットが置いてある。

たえ ん？ (チケットを確認し) うそ、鎌足の限定デザインチケット……しかもロック

モデル！ は！ こ、これは……ゴールド会員のマーク！ ま、まさか部長……

朱美が戻ってくる。

朱美 ちよつとちよつと、たえさん、今、部長そこにいたんですけど、なんか泣いてて、手紙読みながら……

たえ 同志！？

朱美 は？

たえ あ、ごめん。何？ 部長？

朱美 手紙読みながら泣いてたんですよ。

たえ 何で？

朱美 失恋ですかねえ……。

たえ ああ。超恋してたもんね。

朱美 え？

たえ え？ 違うの？

朱美 いや、違うんですけど……。たえさんが知ってるとは思わなくて。

たえ え？ みんな知ってるんじゃないの？

朱美 誰でも知ってることじゃないですよ。え、じゃあ、金田さんの噂も知ってます？ 坂

崎さんと浮気してるって……。？

たえ え？ 金田さんと浮気してるのは友世さんでしょ？

朱美 え？ なんで？

たえ え？ いや、見ればわかるじゃん。

朱美 ええ？

たえ そんな事より、部長だよ、部長。同志、同志！ もう、何で隠してたんですかあー！

たえ、ウキウキと出て行く。一人残される朱美。

朱美 ええ？

おわり。

ユニット・ピコ 女子会演劇公演「春は♀ぶた」

2019年 9月21日(土) / 22日(日)

クリエイティブ・スペース赤れんが ホールII

「春は♀ぶた」

脚本：中野志保

発行：ユニット・ピコ

MAIL [unitpico@gmail.com](mailto:unitpico@gmail.com)

※上演希望の際は、必ずユニット・ピコまでお問い合わせください。